

注3

大学番号：私234

[平成26年度設置]

計画の区分：学部・学科の設置

注1

届出

大阪経済法科大学 経済学部 経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 大阪経済法律学園
平成27年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局長 ヤマナカ マサト 山中 雅登

電話番号 072-941-8211

（夜間） 072-941-1503

FAX 072-941-4426

e-mail syomu@keiho-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部・学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大阪経済法科大学 経済学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 大阪経済法律学園

(2) 大 学 名

大阪経済法科大学

(3) 大学の位置

花岡キャンパス

〒581-8511

大阪府八尾市楽音寺6丁目10番地

八尾駅前キャンパス

〒581-8522

大阪府八尾市北本町2丁目10番45号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カナザワ シュンコウ) 金澤 俊孝 (平成7年3月25日)		
学 長	(フジモト ワキオ) 藤本 和貴夫 (平成17年4月1日)		
学 部 長	(ヤマガキ マサヒロ) 山垣 真浩 (平成25年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経営学科 学士(経営学)	4年	160人	0人 年次人	640人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員			160 (-) [-]	-	160 (-) [-]	-	(-) []	-	(-) []	-	1.26倍	-	
志願者数			1,352 (-) [82]	-	2,020 (-) [64]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
受験者数			1,270 (-) [81]	-	1,883 (-) [64]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
合格者数			818 (-) [81]	-	923 (-) [56]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
B 入学者数			215 (-) [48]	-	191 (-) [40]	-	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A			1.34		1.19		-		-				

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度 平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[48] (一) 215	[] ()	[40] (一) 191	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次			[47] (一) 208	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4 年次							[] ()	[] ()	
計			[87] (-) 399	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	215 人	7 人	平成26年度	7 人	1 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、除籍(4人)、その他(本学経済学部経済学科への転学科1人)	3.3 %
			平成27年度	— 人	— 人		
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	191 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人		0 %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成28年度	— 人	— 人		0 %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	— 人	— 人		0 %
合 計	406 人	7 人					1.7 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜経済学部 経済学科＞

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通 教育 科目	基礎科目										※印の外国語科目のうち、いずれか1種類の外国語4単位が必修(ただし、日本語Ⅰ、日本語Ⅱについては留学生のみ履修することができる)。
	大学演習A	1前		2			2	+	+	2	兼5 兼7 兼6 兼5 兼7 兼6 兼7 兼6 兼7 兼6
	大学演習B	1後		2			2	+	+	2	専任教員の新規採用に伴い、担当者を変更。(27) 教育環境の充実を図るために、クラス数を増加し、科目担当者を追加・追加。(26)
	情報リテラシーA	1前		2							教育の質保証のために、科目担当者を追加。(27)
	情報リテラシーB	1後		2							兼担教員の退職に伴い、兼担教員を新規採用し、担当者を追加・変更。(27)
	文章表現入門	1前後		2							教育環境の充実を図るために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)
	キャリア開発A	1前		2				1			兼3 兼4 兼3 兼4
	キャリア開発B	1後		2				1			教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)
	数的処理ⅠA	1前		2					1		兼8 兼8
	数的処理ⅠB	1後		2					1		教育の質保証のため、科目を新規開設。(27)
	基礎体育A	1前		1							兼3 兼3
	基礎体育B	1後		1							共同(一部)
	英語CⅠ*	1前		2							兼4 兼3 兼4 兼3
	英語CⅡ*	1後		2							共同(一部)
	英語CⅢ	1前		2							兼4 兼4 兼4
	英語CⅣ	1後		2							共同
	視聴覚英語 ^Ⅱ	1前後		2							兼5 兼4 兼7 兼6 兼2 兼4 兼1 兼1 兼2 兼2 兼1 兼1 兼1
	英語表現*	1前後		2							教育の充実のために、兼担教員の新規採用をおこない科目担当者に追加。(26)
	ドイツ語Ⅰ*	1前		2							時間割編成上の都合により、科目担当者を追加・変更。(27)
	ドイツ語Ⅱ*	1後		2							共同 授業内容の充実を図るため、共同形式の授業運営に変更し、担当者を追加。(27)
	フランス語Ⅰ*	1前		2							兼1 兼1 兼2 兼2 兼1 兼1 兼1
	フランス語Ⅱ*	1後		2							
	中国語Ⅰ*	1前		2							
	中国語Ⅱ*	1後		2							
	韓国語Ⅰ*	1前		2							
	韓国語Ⅱ*	1後		2							
	ロシア語Ⅰ*	1前		2							
	ロシア語Ⅱ*	1後		2							

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本語Ⅰ※	1前	2								兼5 兼4	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を変更・追加。(26)
	日本語Ⅱ※	1後	2								兼7 兼5 兼4	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27) 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を変更・追加。(26)
	哲学	1・2・3・4前		2							兼1	時間割編成上の都合により、開講クラス数を変更し、科目担当者を変更。(27) 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)
	倫理学	1・2・3・4後		2							兼1	
	論理学	1・2・3・4後		2							兼1	
	日本史	1・2・3・4前後		2							兼1	
	日本近現代史	1・2・3・4後		2							兼1	
	東洋史	1・2・3・4前後		2							兼1	
	西洋史	1・2・3・4前後		2							兼1 兼2	
	考古学	1・2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学	1・2・3・4後		2							兼1	
	文学	1・2・3・4前後		2							兼2	
	言語学	1・2・3・4前		2							兼1	隔年 時間割編成上の都合により、担当者を変更。(27)
	教育学	1・2・3・4前		2							兼1	
	心理学	1・2・3・4前後		2							兼2	
	日本国憲法	1・2・3・4前後		2							兼1	
	法学	1・2・3・4後		2							兼1	
	政治学	1・2・3・4後		2							兼1	
	経済学	1・2・3・4後		2							兼1	
	地理学	1・2・3・4前後		2							兼1	
	社会学	1・2・3・4前後		2							兼1	
	日本事情入門	1・2・3・4前		2							兼1	留学生科目
	現代日本事情	1・2・3・4後		2							兼1	留学生科目
	数的処理ⅡB	1・2・3・4前後		2							兼4	教育の質保証のために、科目名称を変更し、クラス数を増加、担当者を追加・変更。
	経済学のための数学										兼4	また、時間割編成上の都合により、開講時期を変更。(27)
	数的処理ⅡA	1・2・3・4前後		2							兼4	
	社会科学のための数学											
	化学と生活	1・2・3・4前後		2							兼1	時間割編成上の都合により、開講時期を変更。(27)
	統計学Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	
	統計学Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	
	情報システム論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	ソフトウェア論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	ハードウェア論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	ネットワーク論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	ワープロ実践	1・2・3・4前後		2							兼1	
	表計算実践	1・2・3・4前後		2							兼2 兼4	
	データベース実践	1・2・3・4前後		2							兼1	教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)
	デジタルプレゼンテーション	1・2・3・4前後		2							兼1	
	Webデザイン	1・2・3・4前後		2							兼2 兼1	
	環境論	1・2・3・4前後		2							兼2	
	平和学	1・2・3・4前		2							兼3	オムニバス
	マスコミ論	1・2・3・4後		2							兼1	授業内容の充実を図るために、オムニバス形式の授業に変更し、科目担当者を追加。(26)
	東アジア学入門	1・2・3・4後		2							兼3	
	東西文化交流史	1・2・3・4前		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修 修	選択 択	自由 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	キャリア演習A	3前		2							兼7	時間割編成上の都合により、科目担当者を変更。(27)
	キャリア演習B	3後		2							兼7	
	ビジネスリテラシー	2・3・4前後		2							兼1	
	総合演習a	2・3・4前		2							兼4	
											兼6	
											兼4	
	総合演習b	2・3・4後		2							兼6	教育の充実のために、兼任教員の新規採用をおこない科目担当者に追加。(26)
	身体管理論	2・3・4後		2							兼1	
	スポーツ指導論	2・3・4前		2							兼1	
	スポーツ管理論	2・3・4前		2							兼1	
	生涯スポーツA	2・3・4前		1							兼5	
											兼4	
	生涯スポーツB	2・3・4後		1							兼5	教育の充実のために、兼任教員の新規採用をおこない科目担当者に追加。(26)
											兼4	
	フィットネス実習A	2・3・4前		1							兼2	
	フィットネス実習B	2・3・4後		1							兼2	
	トレーニング演習A	2・3・4前		2							兼2	
	トレーニング演習B	2・3・4後		2							兼2	
	東アジア近現代史	2・3・4前		2							兼1	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)
	東アジア女性史	2・3・4後		2							兼1	
	アジアの都市文化	2・3・4後		2							兼1	
	東アジア文化総合演習	2・3・4前		2							兼1	
	英語総合演習A	2・3・4前		2							兼1	
	英語総合演習B	2・3・4後		2							兼1	
	中国語総合演習A	2・3・4前		2							兼1	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)
	中国語総合演習B	2・3・4後		2							兼1	
	ロシア語総合演習A	2・3・4前		2							兼1	
	ロシア語総合演習B	2・3・4後		2							兼1	
	日本語総合演習A	2・3・4前		2							兼3	
											兼4	
	日本語総合演習B	2・3・4後		2							兼4	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加・変更。(27)
											兼2	
											兼1	
	英語コミュニケーション演習	2・3・4前		4							兼1	
	英語コミュニケーション演習I										兼4	
中国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4							兼2	留学生科目 科目名称変更(27)	
中国語コミュニケーション演習I												
韓国語コミュニケーション演習	2・3・4前		4							兼1		留学生科目 科目名称変更(27)
韓国語コミュニケーション演習I												
英語会話	2・3・4前後		1							兼2		
										兼4		
										兼2		
										兼2	留学生科目 専任講師の委嘱辞退による時間割編成上の都合により、兼任教員1名に担当者を変更したが、開講クラス数に変更はない。(26)	
中国語会話	2・3・4後		1							兼1		
韓国語会話	2・3・4後		1							兼1		
日本語読解	1・2・3前		2							兼3		留学生科目 教育の質保証のために、科目を新規開設。(27)
日本語会話	2・3・4前後		1							兼4		
										兼5		
										兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
		日本語表現	2・3・4前後		1							兼4 兼3	留学生科目 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)
	外国語 研修 科目	英語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		英語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		ドイツ語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		ドイツ語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		フランス語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		フランス語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		中国語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		中国語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		韓国語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		韓国語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
		ロシア語研修Ⅰ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中
	ロシア語研修Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	集中	
	技能 資格 関連 科目	英検	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		TOEIC®	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		TOEFL	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		IELTS	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		実用独語技能検定	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		実用仏語技能検定	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		中国語検定	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		中国漢語水平考試(HSK)	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		韓国語能力試験	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		ハングル能力検定試験	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		ロシア語能力検定試験	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		IT資格初級	1・2・3・4前後		1							兼1	資格認定
		ITパスポート	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		基本情報技術者	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定
		福祉住環境コーディネーター	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		環境社会検定	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
経営 学科 専門 教育 科目		学科 基礎 科目	経営学基礎	1前	2			1 2 4	2 +	1 +	2		時間割編成上の都合により担当者を変更したが、クラス数に変更はない。(27) 教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)
			経済学基礎	1前	2							兼3	時間割編成上の都合により担当者を変更したが、クラス数に変更はない。(27)
	法学基礎		1後	2			4				兼5 兼2	教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加・変更。(26)	
	学科 共通 科目	経営学総論Ⅰ	1・2前後	2			1					教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)	
		経営学総論Ⅱ	2前後	2			1						
		経営組織	1・2前	2			1			1			
		経営管理論Ⅰ	1・2前	2			2 4					教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)	
		経営管理論Ⅱ	2後	2			2 4					教育の質保証のために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(27)	
		労務管理論Ⅰ	1・2前	2					1			教育の充実を図るために、クラス数を増加し、科目担当者を追加。(26)	
		労務管理論Ⅱ	2後	2					1				
		企業論Ⅰ	2前	2			1						
		企業論Ⅱ	2後	2			1						
		経営情報概論	1後	2			1						
		簿記論Ⅰ	2前	2			1	1 9					
		簿記論Ⅱ	2後	2			1						
		マーケティング概論	1・2前	2				1					
		ビジネス統計学Ⅰ	1・2後	2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
経営学 科専門 教育科目	国際ビジネス論	3・4前		2		1						兼1		
	ビジネスプレゼンテーション	3・4前後		2										
	初級簿記	1前		4			1					兼2 兼1 兼2	担当講師(兼任)の委嘱辞退に伴い、 担当者を追加・変更。(27) 簿記担当の准教授1名の産休予定に 伴って、科目担当者を変更。(26)	
	中級簿記	1後		4			1					兼1 兼2 兼1	専任教員の新規採用に伴い、担当者 を変更。(27) 簿記担当の准教授1名の産休予定に 伴って、科目担当者を変更。(26)	
	工業簿記	1後		4					1			兼2	専任教員の新規採用に伴い、担当者 を変更。(27) 簿記担当の准教授1名の産休予定に 伴って、科目担当者を変更。(26)	
	上級簿記	2・3前		2			1					兼1	専任教員の新規採用に伴い、担当者 を変更。(27)	
	会計学Ⅰ	2・3前		2								兼1		
	会計学Ⅱ	2・3後		2								兼1		
	財務会計	2・3後		2			1							
	管理会計	2・3前後		2			1						時間割編成上の都合により、科目担当 者を変更。(27) 時間割編成上の都合により、開講時期 を変更。(26)	
	原価計算	2・3前		2					1			兼1 兼0	専任教員の新規採用に伴い、担当者 を変更。(27) 簿記担当の准教授1名の産休予定に 伴って、科目担当者を変更。(26)	
	税務会計Ⅰ	3・4前		2								兼1		
	税務会計Ⅱ	3・4後		2								兼1		
	会計監査	3・4後		2			1					兼1	担当講師(兼任)の委嘱辞退に伴い、 担当者を変更。(27)	
	経営分析Ⅰ	2・3前		2								兼1		
	経営分析Ⅱ	2・3後		2								兼1		
	会計学特別講義Ⅰ	3・4前		2			1						隔年 大学院開設に伴い、大学院科目を「特 論」名称にすることとしたため、科目名 称を変更。(27)	
	会計学特論Ⅰ													
	会計学特別講義Ⅱ	3・4後		2			1						隔年 大学院開設に伴い、大学院科目を「特 論」名称にすることとしたため、科目名 称を変更。(27)	
	会計学特論Ⅱ													
	経営 情報	情報管理概論	2・3・4前		2								兼1	
		情報処理論(基礎理論)	2・3・4前後		2								兼1	兼任教員の育児休業取得により、開講 時期を変更。(27)
		情報処理論(テクノロジー)	2・3・4後		2								兼1	
		情報処理論(マネジメント)	2・3・4前		2								兼1	
		情報処理論(ストラテジ)	2・3・4後		2								兼1	集中
		情報セキュリティ	2・3・4前		2								兼1	
		eビジネス論	2・3前		2								兼1	
		eビジネス実践	2・3後		2								兼1	
		情報処理特別講義	3・4前		2			1						隔年 大学院開設に伴い、大学院科目を「特 論」名称にすることとしたため、科目名 称を変更。(27)
	情報処理特論													
	統計 学	ビジネス統計学Ⅱ	2・3前		2		1							
		経済統計学Ⅰ	2・3前		2		1							
		経済統計学Ⅱ	2・3後		2		1							
	体験 型学 習	経営実践Ⅰ	2・3前後		4			1 0 0	+				兼2 兼1 兼1	時間割編成上の都合により、担当者 を変更。(27)
		経営実践Ⅱ	2・3前後		4				1 0	+			兼2 兼1	時間割編成上の都合により、専任教員 (講師)担当の2クラスのうち、1クラスの 担当を専任教員(准教授)に変更。(26)
地域フィールドスタディ		2・3前後		2		1						兼3 兼2	教育の質保証のために、クラス数を増 加し、科目担当者を追加。(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
経営 学科 専門 教育 科目	海外フィールドスタディ	1・2・3・4前後		2								兼1	集中	
	Practical Business English I	1・2・3前後		2								兼2 兼1	兼任教員の介護休業取得により、担当者を追加。(27)	
	Practical Business English II	2・3前		2								兼1		
	Practical Business English III	2・3後		2								兼1		
	Economic Issues in English I	2・3前		2								兼1		
	Economic Issues in English II	2・3後		2								兼1		
	Global Business Communication	2・3前		2								兼1		
	Global Strategic Management	2・3後		2			1					兼1		
	Business Economics	3・4後		2								兼1		
	Financial and Investment Analysis	3・4前		2								兼1		
	Japanese Economy	3・4前		2								兼1		
	中国経済事情	3・4前		2								兼1	隔年	
	韓国経済事情	3・4後		2								兼1		
	外国書講読A	2・3・4前		2			1					兼1		
	外国書講読B	2・3・4後		2			1					兼2 兼1	兼任教員の退職に伴い、専任教員を新規採用し、担当者を変更。(27)	
												兼2		
	経済 理論	厚生経済学	3・4前		2								兼1	隔年 隔年
		公共経済論	3・4後		2								兼1	
		計量経済学Ⅰ	3・4前		2			1						
		計量経済学Ⅱ	3・4後		2			1						
		景気循環論	3・4後		2			1						
		経済成長論	3・4後		2			1						
		経済数学Ⅰ	1・2前		2								兼1	
		経済数学Ⅱ	1・2後		2								兼1	
		経済学特別講義	2・3・4後		2								兼1	隔年
	経済学特論												大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、科目名称を変更。(27)	
	経済 史	経済史Ⅰ	1・2・3前後		2								兼1	隔年
		経済史Ⅱ	1・2・3前後		2								兼1	
		日本経済史Ⅰ	2・3前		2								兼1	
		日本経済史Ⅱ	2・3後		2								兼1	
		欧米経済史	3・4前		2								兼1	
		経済史特別講義	3・4前		2								兼1	
		経済史特論											大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、科目名称を変更。(27)	
	経済 政策	経済政策論	3・4前		2								兼1	隔年 隔年
		経済政策論応用	3・4後		2								兼1	
		産業組織論(独占)	3・4前		2								兼1	
		産業組織論(寡占と競争)	3・4後		2								兼1	
		環境経済学(理論)	3・4前		2								兼1	
		環境経済学(政策)	3・4後		2								兼1	
		日本経済論Ⅰ	2・3前		2								兼1	
		日本経済論Ⅱ	2・3後		2								兼1	
		農業経済論	3・4前		2								兼1	
		協同組合概論	3・4後		2								兼1	
		地域経済	3・4前		2								兼1	
		地域生活と経済	2・3後		2								兼1	
		経済地理Ⅰ	3・4前		2								兼1	
		経済地理Ⅱ	3・4後		2								兼1	
		都市経済	3・4後		2								兼1	
		交通概論	3・4後		2								兼1	
		地域デザイン論Ⅰ	2・3前		2								兼1	
		地域デザイン論Ⅱ	2・3後		2								兼1	
		経済政策特別講義	3・4前		2								兼1	
		経済政策特論												隔年
		経済政策特論												大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、科目名称を変更。(27)
		財政 金融	財政学(財政と制度)	3・4前		2								兼1
財政学(経費と租税)	3・4後			2								兼1		
地方財政論Ⅰ	3・4前			2								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
経営 学科 専門 教育 科目	地方財政論Ⅱ	3・4後		2							兼1	担当教員の死亡退職に伴い、専任教員を新規採用し担当者を変更。(27)	
	金融論Ⅰ	3・4前		2		1					兼1		
	金融論Ⅱ	3・4後		2		1					兼1		
	金融政策論	3・4前・後		2		1					兼1		
	地域金融論	3・4後		2							兼1	時間割編成上の都合により、専任教員担当の2クラスのうち、1クラスの担当を兼任教員(教育の充実のために採用した経済学科専任教授)に変更。(26)	
	国際経済学	2・3前後		2		1					兼1 兼0		
	世界経済論	2・3前後		2							兼2 兼1		
	国際金融概論	3・4前		2							兼1		
	国際金融システム論	3・4前・後		2							兼1		
	発展途上国経済論	3・4前		2							兼1		
	開発経済論	3・4後		2							兼1		
	アジア経済概論	3・4前		2							兼1		
	中国経済論Ⅰ	3・4前		2							兼1		
	中国経済論Ⅱ	3・4後		2							兼1		
	韓国経済論Ⅰ	3・4前		2							兼1		
	韓国経済論Ⅱ	3・4後		2							兼1		
	アメリカ経済論	3・4前・後		2					1		兼1 兼1		
	ヨーロッパ経済論	3・4後		2							兼1		
	国際経済特別講義	3・4後		2							兼1		
	国際経済特論												
	社会政策	3・4後		2							兼1	隔年 隔年	
	社会保障	3・4後		2							兼1		
	労働経済学	2・3後		2							兼1	兼1 兼1 兼1	
	経済学史Ⅰ	3・4前		2							兼1		
	経済学史Ⅱ	3・4後		2							兼1		
	社会思想	3・4前		2							兼1	兼1 兼1	
	経済と憲法	2後		2							兼1		
	経済と民法	2前		2							兼1	*1 兼担は、担当教員3名が1年毎に持ち回りで担当。 時間割編成上の都合により、担当者を追加・変更。(27)	
	演習ⅠA	2前		2			4	3	1	2	兼0 兼1		
	演習ⅠB	2後		2			4	3	1	2	兼0 兼1		
	演習ⅡA	3前		2			3	4	1		兼1		
	演習ⅡB	3後		2			3	4	1		兼1		
	演習ⅢA	4前	2				3	4	1		兼1		
	演習ⅢB	4後	2				3	4	1		兼1		
	卒業論文	4通		4			3	4	1		兼1		
	アドバンスト演習												時間割編成上の都合により、担当者を 変更。(27)
	ミクロ経済学演習A	2前		2							兼1		
	ミクロ経済学演習B	2後		2							兼1		
	マクロ経済学演習A	2前		2							兼1		
	マクロ経済学演習B	2後		2							兼1		
	経済史演習A	2前		2							兼1		
	経済史演習B	2後		2							兼1		
	応用ミクロ経済学演習A	2・3前		2							兼1		
	応用ミクロ経済学演習B	2・3後		2							兼1		
	経営学特別演習Ⅰ	3・4前		2		1	+						
	経営学特別演習Ⅱ	3・4後		2		1	+						
	会計学特別演習ⅠA	2前		2			1					*2 科目担当教員2名が隔年で担当。	
	会計学特別演習ⅠB	2後		2			1						
	会計学特別演習ⅡA	3前		2			1						
	会計学特別演習ⅡB	3後		2			1						
	ICT特別演習ⅠA	2前		2							兼1		
	ICT特別演習ⅠB	2後		2							兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
経営学科専門教育科目		ICT特別演習ⅡA※ ¹	2前		2							兼1	教育の質保証のために、科目を新規開設。(27)
		ICT特別演習ⅡB※ ¹	2後		2							兼1	
		ICT特別演習ⅢA	3・4前		2							兼1	
		ICT特別演習ⅢB	3・4後		2							兼1	
		ICT特別演習ⅣA	3・4前		2							兼1	
		ICT特別演習ⅣB	3・4後		2							兼1	
		BLP特別演習ⅠA	2前		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅠB	2後		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅡA	2前		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅡB	2後		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅢA	3前		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅢB	3後		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅣA	3前		2			1				兼2	
		BLP特別演習ⅣB	3後		2			1				兼2	
		GCP特別演習ⅠA(経)	2前		2							兼1	
		GCP特別演習ⅠB(経)	2後		2				1			兼2	
	GCP特別演習ⅡA(経)	3前		2				1			兼1		
	GCP特別演習ⅡB(経)	3後		2				1			兼1		
	インターンシップ(学外研修)	2・3・4前後		2			1					集中	
	海外インターンシップ	3・4前後		2								兼1 集中	
技能資格等関連		ファイナンシャルプランナー	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定
		販売士	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		宅地建物取引主任者	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定
		社会保険労務士	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定
		旅行業務取扱管理者	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		ビジネス実務法務検定	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		法学検定初級	1・2・3・4前後		1							兼1	資格認定
		法学検定中級	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		法学検定上級	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定
		簿記検定初級	1・2・3・4前後		1							兼1	資格認定
		簿記検定中級	1・2・3・4前後		2							兼1	資格認定
		簿記検定上級	1・2・3・4前後		4							兼1	資格認定

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
20	371	0	391	20	378 374	0	398 394	教育の質保証のために、授業科目を新規開設(27)
				[0]	[7 9]	[0]	[7 9]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	64,582.3㎡	㎡	㎡	64,582.3㎡				
	運動場用地	19,956.5㎡	㎡	㎡	19,956.5㎡				
	小 計	84,538.8㎡	㎡	㎡	84,538.8㎡				
	そ の 他	301,888.8㎡	㎡	㎡	301,888.8㎡				
	合 計	386,427.6㎡	㎡	㎡	386,427.6㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	34,765.7㎡ (34,765.7㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	34,765.7㎡ (34,765.7㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 経営学科で使用する教 室数を記載 (27)			
	29 30室	34 41室	3 4室	4室 (補助職員 人)	20室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		経営学科所属専任教員数 の増加 (27)			
	経営学科			17 42 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	共用分 (完成年度) 図書338,028冊 [77,321 冊] 学術雑誌2,680種 視聴覚資料1,972点 機械・器具の購入による 増加 (26) 届出後の図書受入による 増冊 (26)	
	経営学科	28,149 [4,229] (24,095 [4,077]) (23,850 [4,001])	439 [355] (439 [355])	355 [355] (355 [355])	42 (42)	7,279 6,583 (7,279) (6,583)	— (—)		
	計	28,149 [4,229] (24,095 [4,077]) (23,850 [4,001])	439 [355] (439 [355])	355 [355] (355 [355])	42 (42)	7,279 6,583 (7,279) (6,583)	— (—)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		既存施設を図書館に転用 したため、面積と収容可 能冊数が増加 (27)。		
	4,410.0㎡ 3,741.7㎡		473 559		428,000冊 382,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	8,048.7㎡		テ ニ ス コ ー ト 2 面 弓道場1面、アーチェリー場1面						
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教育の充実に図るため図 書購入、設備購入の増加 (26) 図書購入費、設備購入費 は経営学科単位での特定 不能なため、大学全体の 金額 (27)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	508千円	508千円	図書購入費	4,347千円 4,407千円	12,389千円 4,407千円	4,107千円	
	共 同 研 究 費 等	635千円 541千円	541千円	設備購入費	18,864千円 3,827千円	46,042千円 3,827千円	3,827千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,196千円	1,016千円	1,036千円	1,056千円	-千円	-千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	大阪経済法科大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
経済学研究科	年	人	年次 人	人	修士 (経済 学)	倍	平成27年度	大阪府八尾市北 本町2丁目10番 45号		
経済学専攻（修士課程）	2	20	-	20		1.10 1.10				
大 学 の 名 称	大阪経済法科大学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
経済学部	年	人	年次 人	人	学士 (経済 学)	倍	昭和46年度	大阪府八尾市楽 音寺6丁目10番 地 大阪府八尾市北 本町2丁目10番 45号		
経済学科	4	160	-	840		1.18 1.15				
経営学科	4	160	-	320	学士 (経営 学)	1.26	平成26年度	同上		
法学部						1.10				
法律学科	4	260	-	980	学士 (法学)	1.10	昭和46年度	同上		

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況
 <経済学部経営学科>
 (1) 教員担当表

設置時の計画					変更状況					
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
専	教授	能塚正義(66)	平成26年 4月	経営学基礎 経営学総論Ⅰ 経営学総論Ⅱ インターンシップ						平成27年4月 インターンシップ は、時間割編成上 の理由により、深 瀬教授に担当者 を変更。(27)
専	教授	崔 潤鎔(57)	平成26年 4月	経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 国際ビジネス論 コーポレートガバナンス論 経営組織 近代経営史 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB						
専	教授	深瀬 澄(52)	平成26年 4月	経済学基礎 経済統計学Ⅰ 経済統計学Ⅱ 現代産業論 マーケティングリサーチ 地域フィールドスタディ 保険論 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB					経済学基礎 ビジネス統計学Ⅰ ビジネス統計学Ⅱ 経済統計学Ⅰ 経済統計学Ⅱ	平成26年4月 経済学基礎は、時 間割編成上の理 由により、鎌倉教 授(兼任)に担当 者を変更。(26) 平成26年4月 ビジネス統計学 Ⅰ、ビジネス統計 学Ⅱは、時間割編 成上の理由によ り、井上教授から 担当者を変更。 (26) 平成26年4月 経済統計学Ⅰ、経 済統計学Ⅱは、時 間割編成上の理 由により、井上教 授に担当者を変 更。(26) 平成27年4月 インターンシップ は、時間割編成上 の理由により、能 塚教授から担当者 を変更。(27)
				大学演習A 大学演習B	専	准教授	引地 夏奈子(36)	平成27年 4月	大学演習A 大学演習B	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 営学科に引地准 教授を採用。大学 演習A、大学演習 Bは、時間割編成 上の理由により、 引地准教授に担 当者を変更。(27)
専	教授	宮本 良成(70)	平成26年 4月	企業論Ⅰ 企業論Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 経済成長論【隔年】 景気循環論【隔年】 国際経済学						平成26年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に田畑教 授を採用。国際経 済学は、時間割編 成上の理由によ り、宮本教授担当 の2クラスのうち1ク ラスを、田畑教授 (兼任)に変更。 (26)
					兼任	教授	田畑 理一 (65)(66)	平成26年 4月	国際経済学	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
専	教授	井上 勝雄(70)	平成26年 4月	計量経済学Ⅰ						平成26年4月 経済統計学Ⅰ、経済統計学Ⅱは、時間割編成上の理由により、深瀬教授から担当者を変更。(26)
				計量経済学Ⅱ						平成26年4月 ビジネス統計学Ⅰ、ビジネス統計学Ⅱは、時間割編成上の理由により、深瀬教授に担当者を変更。(26)
専	教授	井上 勝雄(70)	平成26年 4月	経済学						平成27年4月 経済学(時間割編成上の理由により、杉山准教授に担当者を変更(27)
				社会科学のための数学						平成27年4月 社会科学のための数学は、科目名称変更を行った上で、教育の質保証のため、クラス数を増加。そして、時間割編成上の理由により、担当者を変更。(27)
専	教授	井上 勝雄(70)	平成26年 4月	ビジネス統計学Ⅰ						平成27年4月 教育の質保証のため、経営学基礎のクラス数を増加。(26)
				ビジネス統計学Ⅱ						平成27年4月 津田講師(兼任)の委嘱辞退により、会計監査の担当者を高橋教授に変更。(27)
専	教授	井上 勝雄(70)	平成26年 4月	資料解釈	兼任	講師	円谷 友英(39)	平成27年 4月	資料解釈	平成27年4月 大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、情報処理特論の科目名称を変更。(27)
専	教授	高橋 敏朗(73)	平成26年 4月	管理会計	専	准教授	引地 夏奈子(36)	平成27年 4月	管理会計	平成26年4月 教育の質保証のため、経営学基礎のクラス数を増加。(26)
				会計学特論Ⅰ【隔年】						平成27年4月 津田講師(兼任)の委嘱辞退により、会計監査の担当者を高橋教授に変更。(27)
専	教授	高橋 敏朗(73)	平成26年 4月	会計学特論Ⅱ【隔年】						平成27年4月 大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、会計学特論Ⅰ、会計学特論Ⅱの科目名称を変更。(27)
				簿記論Ⅰ						平成27年4月 教育の質保証のため、経営学特別講義のクラス数を増加。(27)
専	教授	高橋 敏朗(73)	平成26年 4月	簿記論Ⅱ						平成27年4月 教育の質保証のため、会計監査の担当者を高橋教授に変更。(27)
専	教授	市橋 秀友(65)	平成26年 4月	経営情報概論						平成27年4月 大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、情報処理特論の科目名称を変更。(27)
				情報処理特論【隔年】						
専	教授	市橋 秀友(65)	平成26年 4月	経営工学概論						
				演習ⅠA						
専	教授	市橋 秀友(65)	平成26年 4月	演習ⅠB						
				演習ⅡA						
専	教授	市橋 秀友(65)	平成26年 4月	演習ⅡB						
				演習ⅢA						
専	教授	市橋 秀友(65)	平成26年 4月	演習ⅢB						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
専	准教授	滝本 優枝(41)	平成26年 4月	市場戦略論 マーケティング概論 消費者行動論 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB						
				経営学特別演習Ⅰ 経営学特別演習Ⅱ	専	教授	坂本 清(73)	平成27年 4月	経営学特別演習Ⅰ 経営学特別演習Ⅱ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 営学科に坂本教 授を採用。時間割 編成上の理由によ り、担当者坂本 教授に変更。(27)
専	准教授	松下 幸史朗(33)	平成26年 4月	経営戦略論(企業戦略) 経営戦略論(事業戦略) Global Strategic Management GCP特別演習ⅠA(経) GCP特別演習ⅠB(経) GCP特別演習ⅡA(経) GCP特別演習ⅡB(経) 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB					GCP特別演習ⅠA(経) GCP特別演習ⅠB(経) GCP特別演習ⅡA(経) GCP特別演習ⅡB(経)	平成26年4月 GCP特別演習ⅠA (経)、GCP特別演 習ⅠB(経)は、教 育の質保証のた め、担当教員数を 1名から2名に増加 させたうえで、時 間割編成上の理 由により、吉川准 教授(兼任)、三井 専任講師(兼任) に担当者を変更。 (26)
									経営学基礎 経営実践Ⅰ 経営実践Ⅱ BLP特別演習ⅠA BLP特別演習ⅠB BLP特別演習ⅡA BLP特別演習ⅡB BLP特別演習ⅢA BLP特別演習ⅢB BLP特別演習ⅣA BLP特別演習ⅣB	平成26年4月 GCP特別演習ⅡA (経)、GCP特別演 習ⅡB(経)は、時 間割編成上の理 由により、宋教授 (兼任)に担当者 を変更。(26) 平成26年4月 教育の質保証の ため、経営学基礎 のクラス数を増 加。(26) 平成26年4月 経営実践Ⅰ、経営 実践Ⅱは、時間割 編成上の理由によ り、山路講師担当 の2クラスのうち1ク ラスを、松下准教 授に変更。(26) 平成27年4月 教育の質保証の ため、BLP特別演 習ⅠA、BLP特別 演習ⅠB、BLP特 別演習ⅡA、BLP 特別演習ⅡB、 BLP特別演習Ⅲ A、BLP特別演習 ⅢB、BLP特別演 習ⅣA、BLP特別 演習ⅣBのクラス 数を増加し、松下 准教授が担当。 (27)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
専	准教授	山根 陽一(34)	平成26年 4月	初級簿記 工業簿記 原価計算 財務会計 会計学特別演習ⅡA【隔年担当】 会計学特別演習ⅡB【隔年担当】 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB 会計学特別演習ⅠA【隔年担当】 会計学特別演習ⅠB【隔年担当】					工業簿記 原価計算 大学演習A 大学演習B 簿記論Ⅰ 平成26年4月 平成26年度秋学期からの中嶋准教授の座休予定に伴い、簿記担当教員間で、時間割編成の調整を行ったため、工業簿記を黒木講師(兼任)、原価計算を瀬尾講師(兼任)に変更。(26) 平成26年4月 大学演習A、大学演習Bは、平成26年度秋学期からの中嶋准教授座休予定に伴い、担当者を、中嶋准教授から変更。(26) 平成26年4月 教育の充実を図るため、簿記論Ⅰのクラス数を増加。(26)	
専	准教授	中嶋 美樹子(39)	平成26年 4月	企業財務論【隔年】 証券論【隔年】 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB 会計学特別演習ⅡA【隔年担当】 会計学特別演習ⅡB【隔年担当】 大学演習A 大学演習B 会計学特別演習ⅠA【隔年担当】 会計学特別演習ⅠB【隔年担当】 演習ⅠA 演習ⅠB					平成26年4月 平成26年度秋学期からの座休予定に伴い、大学演習A、大学演習Bは、山根准教授に変更。(26) 平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部経営学科に長沼教授及び引地准教授を採用。(27) 平成27年4月 中嶋准教授の育児休業により、会計学特別演習ⅠA、会計学特別演習ⅠBの担当者を引地准教授に、演習ⅠA、演習ⅠBの担当者を長沼教授に変更。(27)	
				専	准教授	引地 夏奈子(36)	平成27年 4月	会計学特別演習ⅠA【隔年担当】 会計学特別演習ⅠB【隔年担当】		
				専	教授	長沼 進一(66)	平成27年 4月	演習ⅠA 演習ⅠB		
				専	准教授	引地夏奈子 (36) 後任未定	平成27年 4月	中級簿記	平成26年4月 平成26年度秋学期からの座休予定に伴い、秋学期開講の中級簿記担当が不可能になった。現時点では、後任が決まっていない。後任を現在入選中であり、7月までに後任を確定する。(26) 平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部経営学科に引地准教授を採用。中嶋准教授の育児休業により、担当者を引地准教授に変更。(27)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
専	講師	山路 崇正(34)	平成26年 4月	経営学基礎 労務管理論Ⅰ 労務管理論Ⅱ 経営実践Ⅰ 経営実践Ⅱ キャリア開発A キャリア開発B 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB					経営実践Ⅰ 経営実践Ⅱ キャリア開発A キャリア開発B	平成26年4月 経営実践Ⅰ、経営実践Ⅱは、時間割編成上の理由により、山路講師担当の2クラスのうち1クラスを、松下准教授に変更。(26)
				大学演習A 大学演習B	専	助教	藤村 佳子(33)	平成27年 4月	大学演習A 大学演習B	平成26年4月 教育の質保証のため、キャリア開発A、キャリア開発Bのクラス数を増加。(26) 平成27年4月 経営実践Ⅰ、経営実践Ⅱは、時間割編成上の理由により、担当者を、徳丸客員教授(兼任)に変更。(27)
兼任	教授	朱 東平(51)	平成26年 4月	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 中国経済事情【隔年】 ミクロ経済学演習A ミクロ経済学演習B						
兼任	教授	原田 金一郎(66)	平成26年 4月	世界経済論 開発経済論 発展途上国経済論 外国書講読A 外国書講読B	兼任	教授	田畑 理一 (66)	平成26年 4月	世界経済論 開発経済論	平成27年3月 原田教授の定年退職。(27)
									発展途上国経済論	平成27年4月 世界経済論、開発経済論、発展途上国経済論、外国書講読A、外国書講読Bの担当者を変更。(27)
兼任	教授	土橋 敏光(65)	平成26年 4月	金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 金融政策論	専	教授	長沼 進一(66)	平成27年 4月	金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 金融政策論	平成26年10月 土橋教授の死亡退職。(27)
										平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部経営学科に長沼教授を採用。金融論Ⅰ、金融論Ⅱ、金融政策論の担当者を変更。(27)
兼任	教授	金 哲雄(65)	平成26年 4月	経済学基礎 経済史Ⅰ 経済史Ⅱ 欧米経済史 経済史演習A 経済史演習B					経済学基礎	平成26年4月 経済学基礎は、時間割編成上の都合により、山垣教授(兼任)に担当者を変更。(26)
				ヨーロッパ経済論【隔年】	兼任	教授	田畑 理一 (65)(66)	平成26年 4月	ヨーロッパ経済論【隔年】	平成26年4月 教育の充実を図るため、経済学部経営学科に田畑教授を採用。時間割編成上の都合により、田畑教授が兼任として担当することに変更。(26)
兼任	教授	グスタボ・バルダス(52)	平成26年 4月	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ Financial and Investment Analysis Japanese Economy Business Economics マクロ経済学演習A マクロ経済学演習B						

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	山垣 真浩(45)	平成26年 4月	社会経済学Ⅰ 社会経済学Ⅱ 社会政策【隔年】 社会保障【隔年】 ファイナンシャルプランナー【技能資格等関連科目として単位認定】 販売士【技能資格等関連科目として単位認定】 宅地建物取引主任者【技能資格等関連科目として単位認定】 社会保険労務士【技能資格等関連科目として単位認定】 旅行業務取扱管理者【技能資格等関連科目として単位認定】 ビジネス実務法務検定【技能資格等関連科目として単位認定】 法学検定初級【技能資格等関連科目として単位認定】 法学検定中級【技能資格等関連科目として単位認定】 法学検定上級【技能資格等関連科目として単位認定】 簿記検定初級【技能資格等関連科目として単位認定】 簿記検定中級【技能資格等関連科目として単位認定】 簿記検定上級【技能資格等関連科目として単位認定】						平成26年4月 経済学基礎は、時間割編成上の都合により、金哲雄教授(兼任)から担当者を変更。(26)
									経済学基礎	
兼任	教授	前鶴 政和(40)	平成26年 4月	経済政策論 経済政策論応用 産業組織論(独占) 産業組織論(寡占と競争) 環境経済学(理論)【隔年】 環境経済学(政策)【隔年】 応用ミクロ経済学演習A 応用ミクロ経済学演習B	兼任	教授	中井 英雄(65)	平成27年 4月	経済政策論 経済政策論応用	平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部経済学科に中井教授を採用。経済政策論及び経済政策論応用は、時間割編成上の理由により、担当者を中井教授に変更。(27)
兼任	教授	梁 官洙(63)	平成26年 4月	韓国経済論Ⅰ 韓国経済論Ⅱ アジア経済概論 韓国経済事情 国際経済特論					国際経済特別講義 発展途上国経済論 世界経済論	平成27年4月 大学院開設に伴い、大学院科目を「特論」名称にすることとしたため、国際経済特論の科目名称を変更。(27) 平成27年4月 原田教授の定年退職により、世界経済論、発展途上国経済論の担当者を変更。(27)
兼任	教授	鎌倉 健(65)	平成26年 4月	地域経済 大学演習A 大学演習B 演習ⅠA 演習ⅠB 演習ⅡA 演習ⅡB 演習ⅢA 演習ⅢB 地域生活と経済					経済学基礎	平成26年4月 経済学基礎は、時間割編成上の理由により、深瀬澄教授から担当者を変更。(26) 平成27年4月 経済学基礎は、時間割編成上の理由により、担当者を変更。(27)
					兼任	教授	徳丸 義也(59)	平成27年 4月	地域生活と経済	平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部客員教授として、徳丸義也氏に新規委嘱。時間割編成上の理由により、担当者を徳丸客員教授に変更。(27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	准教授	高橋 慎二(40)	平成26年 4月	中小企業政策論 中小企業経営論 ベンチャービジネス論【隔年】 現代社会とビジネス※ 地域デザイン論Ⅰ 地域デザイン論Ⅱ						
				キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B	専	助教	藤村 佳子(33)	平成27年 4月	キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 営学科に藤村助 教を採用。時間割 編成上の理由によ り、担当者を藤村 助教に変更。(27)
兼任	准教授	高砂 謙二(43)	平成26年 4月	法学基礎	兼任	教授	岩村 等(67)	平成27年 4月	法学基礎	平成27年4月 法学基礎は、時間 割編成上の理由 により、高砂准教 授から担当者を変 更。(27)
				貿易論(貿易基礎) 貿易論(貿易実務) 信用金庫論 銀行論(銀行制度) 銀行論(銀行政策) 地域金融論 BLP特別演習ⅠA BLP特別演習ⅠB BLP特別演習ⅡA BLP特別演習ⅡB BLP特別演習ⅢA BLP特別演習ⅢB BLP特別演習ⅣA BLP特別演習ⅣB					経営と法	平成27年4月 経営と法は時間割 編成上の理由によ り、高砂准教授に 担当者を変更(27)
兼任	准教授	杉山 裕(40)	平成26年 4月	日本経済論Ⅰ 日本経済論Ⅱ 労働経済学					経済学基礎 経済学	平成26年4月 教育の質保証の ため、経済学基礎 のクラス数を増 加。(26) 平成27年4月 経済学は時間割 編成上の理由によ り、井上教授から 担当者を変更(27)
				日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 経済史特論【隔年】	兼任 兼任	教授	瀧澤 秀樹 (71)(72)	平成26年 4月 平成27年 4月	日本経済史Ⅰ 日本経済史Ⅱ 経済史特別講義【隔年】	平成26年4月 日本経済史Ⅰ、日 本経済史Ⅱは、時 間割編成上の都 合により、杉山准 教授(兼任)から担 当者を変更。(26) 平成27年4月 大学院開設に伴 い、大学院科目を 「特論」名称にす ることとしたため、経 済史特論の科目 名称を変更。大学 院経済学研究科 の開設に伴い、大 学院経済学研究 科に瀧澤教授を 採用。経済史特別 講義は、時間割編 成上の理由によ り、担当者を瀧澤 教授に変更(27)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	助教	中村 悦広(35)	平成26年 4月	財政学(財政と制度) 財政学(経費と租税)						
				経済学基礎	兼任	助教	谷花 佳介(38)	平成27年 4月	経済学基礎	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に谷花助 教を採用。時間割 編成上の理由によ り、担当者を谷花 助教に変更。(27)
				経済学特論【隔年】	兼任	教授	中井 英雄(65)	平成27年 4月	経済学特別講義【隔年】	平成27年4月 大学院開設に伴 い、大学院科目を 「特論」名称にする こととしたため、経 済学特論の科目 名称を変更。教育 の充実を図るた め、経済学部経済 学科に中井教授 を採用。経済学特 別講義は、時間割 編成上の理由によ り、担当者を中井 教授に変更。(27)
				経済政策特論【隔年】	兼任	教授	田畑 理一 (66)(66)	平成26年 4月	経済政策特別講義【隔年】	平成26年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に田畑教 授を採用。時間割 編成上の都合によ り、田畑教授が兼 担として担当す ることに変更。(26) 平成27年4月 大学院開設に伴 い、大学院科目を 「特論」名称にする こととしたため、経 済政策特論の科 目名称を変更。
兼任	准教授	大澤 和人(56)	平成26年 4月	経営と法					経営と法	平成26年4月 経営と法の授業内 容の充実のため、 オムニバス形式の 授業に変更し、担 当者を追加。(26) 平成27年4月 経営と法は時間割 編成上の理由によ り、高砂准教授に 担当者を変更(27)
兼任	講師	神谷 明(65)	平成26年 4月	外国書講読A 外国書講読B						
兼任	講師	荒井 敏男(58)	平成26年 4月	外国為替						
兼任	講師	向山 敦夫(54)	平成26年 4月	会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 経営分析Ⅰ 経営分析Ⅱ						
兼任	講師	表 弘一郎(43)	平成26年 4月	社会思想	兼任	講師	北西 正人(34)	平成27年 4月	社会思想	平成27年3月 表講師(兼任)が、 一身上の理由によ り、平成27年度以 降の委嘱辞退。 (27) 平成27年4月 社会思想は表講 師(兼任)の委嘱 辞退により、担当 者を変更。(27)
兼任	講師	糸井 淳子(53)	平成26年 4月	地方財政論Ⅰ 地方財政論Ⅱ						
兼任	講師	木下 英雄(49)	平成26年 4月	中国経済論Ⅰ 中国経済論Ⅱ						
兼任	講師	三重 遷一(40)	平成26年 4月	都市経済						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	津田 佳典(41)	平成26年 4月	会計監査					会計監査	平成27年3月 津田講師(兼任) が、一身上の理由 により、平成27年 度以降の委嘱辞 退。(27)
兼任	講師	藤原 久敏(37)	平成26年 4月	ファイナンシャル・プランニング						
兼任	講師	楠瀬 航(42)	平成26年 4月	地域フィールドスタディ						
兼任	講師	廣本 寿夫(54)	平成26年 4月	情報処理論(マネジメント) 情報処理論(ストラテジ) eビジネス論 eビジネス実践 ビジネスリテラシー ビジネスプレゼンテーション						
兼任	講師	南 武博(45)	平成26年 4月	税務会計Ⅰ 税務会計Ⅱ						
兼任	講師	西 淳(48)	平成26年 4月	経済学史Ⅰ 経済学史Ⅱ					マクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ	平成26年4月 教育の充実を図る ため、ミクロ経済学 Ⅰ、マクロ経済学 Ⅰのクラス数を増 加。(26)
兼任	講師	江尻 彰(64)	平成26年 4月	農業経済論 協働組合概論						
兼任	講師	岩田 志郎 (67)	平成26年 4月	中級簿記						
兼任	講師	林 繁一(57)	平成26年 4月	工業簿記	専	助教	北田 真紀(29)	平成27年 4月	工業簿記	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 営学科に北田助 教を採用。担当者 を林講師(兼任) から、北田助教に 変更。
兼任	講師	麻生 憲一(57)	平成26年 4月	観光論 国際観光論	兼任	講師	石本 東生(53)	平成27年 4月	観光論 国際観光論	平成27年3月 麻生講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成27年 度以降の委嘱辞 退。(27) 平成27年4月 麻生講師(兼任) の一身上の都合 による委嘱辞退に より、担当者を石 本講師(兼任)に 変更。(27)
兼任	講師	仙波 慶子(54)	平成26年 4月	国際経営概論 経営学特論					経営学特別講義	平成27年4月 大学院開設に伴 い、大学院科目を 「特論」名称にする こととしたため、経 営学特論の科目 名称を変更。(27)
兼任	講師	服部 正志(54)	平成26年 4月	経営実践Ⅰ 経営実践Ⅱ 地域フィールドスタディ						
兼任	講師	鈴木 遵也(34)	平成26年 4月	厚生経済学 公共経済論						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	黒木 淳(27)	平成26年 4月	初級簿記					初級簿記	平成26年4月 平成26年度秋学期からの中嶋准教授の産休予定に伴い、簿記担当教員間で、時間割編成の調整を行ったため、瀬尾講師(兼任)担当の初級簿記を黒木講師が担当。黒木講師の初級簿記担当コマ数が増加。(26)
									工業簿記	平成26年4月 平成26年度秋学期からの中嶋准教授の産休予定に伴い、簿記担当教員間で、時間割編成の調整を行ったため、工業簿記担当を山根准教授から変更。(26)
										平成27年3月 黒木講師(兼任)が、一身上の理由により、平成27年度以降の委嘱辞退。(27) 平成27年4月 黒木講師(兼任)の一身上の理由による委嘱辞退により担当者を変更。(27)
兼任	講師	瀬尾 泰洋(29)	平成26年 4月	初級簿記					初級簿記	平成26年4月 平成26年度秋学期からの中嶋准教授の産休予定に伴い、簿記担当教員間で、時間割編成の調整を行ったため、初級簿記を黒木講師が担当。(26)
				上級簿記	専任	准教授	引地 夏奈子(36)	平成27年 4月	上級簿記	平成26年4月 平成26年度秋学期からの中嶋准教授の産休予定に伴い、簿記担当教員間で、時間割編成の調整を行ったため、原価計算を瀬尾講師(兼任)に変更。(26)
										平成27年3月 瀬尾講師(兼任)が、一身上の都合により、平成27年度以降の委嘱辞退。(27)
										平成27年4月 教育の充実を図るため、経済学部経営学科に引地准教授を採用。瀬尾講師(兼任)の一身上の都合による委嘱辞退により、担当者を引地准教授に変更。(27)
兼任	講師	方 鉄峰(38)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B	兼任	准教授	中川康弘 (41)(42)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B	平成26年4月 教育の充実を図るため、教養部に中川准教授を採用。時間割編成上の都合により、中川准教授が兼任として担当することに変更。(26)
兼任	講師	松澤 俊雄(65)	平成26年 4月	交通概論						

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	森中 由貴(39)	平成26年 4月	国際金融概論 国際金融システム論 アメリカ経済論						
					専	助教	谷花 佳介(38)	平成27年 4月	アメリカ経済論	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に谷花助 教を採用し、担当 者を変更。(27)
兼任	講師	杉林 弘仁(52)	平成26年 4月	流通産業論 流通システム論						
兼任	講師	矢島 正枝(63)	平成26年 4月	ホスピタリティ論						
兼任	講師	石川 靖之(49)	平成26年 4月	広告心理論 製品開発論						
					兼任	教授	田畑 理一 (65)(66)	平成26年 4月	経済学基礎	平成26年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に田畑教 授を採用。教育の 質保証のため、経 済学基礎のクラス 数を追加し、田畑 教授が兼任として 担当することに変 更。(26)
					専任	教授	坂本 清(73)	平成27年 4月	経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に坂本教 授を採用。(27)
					専任	准教授	引地夏奈子(36)	平成27年 4月	経営学基礎	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に引地准 教授を採用。(27)
					専任	助教	藤村 佳子(33)	平成27年 4月	経営組織 経営学基礎	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に藤村助 教を採用。(27)
					専任	助教	北田 真紀(29)	平成27年 4月	経営学基礎 原価計算 教的处理A 教的处理B	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に北田助 教を採用。(27)
					兼任	教授	中井 英雄(65)	平成27年 4月	マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に中井教 授を採用。(27)
					兼任	教授	金 泰明(63)	平成27年 4月	法学基礎	平成27年4月 法学基礎は、沖講 師の委嘱辞退によ り、担当者を変 更。(27)
					兼任	助教	谷花 佳介(38)	平成27年 4月	ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 済学科に谷花助 教を採用。(27)
					兼任	准教授	大久保紀彦(54)	平成27年 4月	法学基礎	平成27年4月 教育の充実を図る ため、法学部法律 学科に大久保准 教授を採用。(27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
					兼任	教授	徳丸 義也 (59)	平成27年 4月	経営実践Ⅰ 経営実践Ⅱ 地域フィールドスタディ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部客 員教授として徳丸 義也氏に委嘱。 (27)
					兼任	講師	太田 裕貴 (27)	平成27年 4月	初級簿記	平成27年4月 担当講師(兼任) の一身上の都合 による委嘱辞退に より、新規委嘱。 (27)
					兼任	講師	岡野 彩可 (26)	平成27年 4月	初級簿記	平成27年4月 担当講師(兼任) の一身上の都合 による委嘱辞退に より、新規委嘱。 (27)

<共通>

(1) 教員担当表

設置時の計画					変更状況					
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	永平 幸雄(66)	平成26年 4月	経済学のための数学 判断推理(論理) 判断推理(図形) 数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形)					経済学のための数学 判断推理(論理) 判断推理(図形) 数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形)	平成27年3月 一身上の都合によ り、永平教授が退 職。(27) 平成27年4月 永平教授の退職 により、経済学 のための数学、判断 推理(論理)、判断 推理(図形)、判断 推理(数の性質)、 判断推理(確率と 図形)の担当者 を変更。(27)
兼任	教授	宋 南先(61)	平成26年 4月	英語CⅢ【共同】 英語CIV【共同】					GCP特別演習ⅡA(経) GCP特別演習ⅡB(経) Global Business Communication 大学演習A 大学演習B	平成26年4月 GCP特別演習ⅡA (経)、GCP特別演 習ⅡB(経)は、時 間割編成上の都 合により、松下准 教授から担当 者を変更。(26) 平成26年4月 大学演習A、大学 演習Bは、時間割 編成上の都合に より、岩見准教 授(兼任)から担 当者を変更。(26) 平成27年4月 Global Business Communication は、時間割編成 上の理由により、 担当者をマーティ ン准教授から変 更。(27) 平成27年4月 大学演習A、大学 演習Bは、時間割 編成上の理由に より、担当者を 変更。(27)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授 (教養 部長)	浅見 緑(54)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B 文学 現代社会と日本語 文章表現入門 河内学※ 英語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 英語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 ドイツ語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 ドイツ語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 フランス語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 フランス語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 中国語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 中国語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 韓国語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 韓国語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 ロシア語研修Ⅰ【外国語研修科目として単位認定】 ロシア語研修Ⅱ【外国語研修科目として単位認定】 英検【技能資格関連科目として単位認定】 TOEIC [®] 【技能資格関連科目として単位認定】 TOEFL【技能資格関連科目として単位認定】 IELTS【技能資格関連科目として単位認定】 実用英語技能検定【技能資格関連科目として単位認定】 実用仏語技能検定【技能資格関連科目として単位認定】 中国語検定【技能資格関連科目として単位認定】 中国漢語水平考試(HSK)【技能資格関連科目として単位認定】 韓国語能力試験【技能資格関連科目として単位認定】 ハングル能力検定試験【技能資格関連科目として単位認定】 ロシア語能力検定試験【技能資格関連科目として単位認定】 IT資格初級【技能資格関連科目として単位認定】 ITパスポート【技能資格関連科目として単位認定】 基本情報技術者【技能資格関連科目として単位認定】 福祉住環境コーディネーター【技能資格関連科目として単位認定】 環境社会検定【技能資格関連科目として単位認定】	兼任	准教授	ウェザビ・マーティン(52)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B	平成27年4月 大学演習A、大学演習Bは、時間割 編成上の理由によ り、担当者を変 更。(27)
兼任	教授	鈴木 清稔(57)	平成26年 4月	教育学 学校ボランティア						
兼任	教授	金 成秀(60)	平成26年 4月	英語表現 フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 韓国語コミュニケーション演習Ⅰ 韓国語Ⅰ 平和学※ 東アジア学入門※					現代社会と観光※ 日本語総合演習A【留学生科目】 日本語総合演習B【留学生科目】	平成26年4月 オムニバス形式で 実施する、現代社 会と観光の授業内 容の充実のため、 担当教員を追加。 (26) 平成27年4月 日本語総合演習 A、日本語総合演 習Bは、時間割編 成上の理由によ り、担当者を変 更。(27)
				日本語表現【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】	兼任	准教授	赤城 永里子(34)	平成27年 4月	日本語表現【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に赤 城准教授を採用。 時間割編成上の 理由により、担当 者を赤城准教授 に変更。(27)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	呉 志賢(39)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B Economic Issues in English I Economic Issues in English II BLP特別演習 I A BLP特別演習 I B BLP特別演習 II A BLP特別演習 II B BLP特別演習 III A BLP特別演習 III B BLP特別演習 IV A BLP特別演習 IV B 情報管理概論 現代社会とメディア※					現代社会とメディア※	平成27年4月 現代社会とメディアは、時間割編成上の理由により、担当者を変更。(27)
兼任	教授	勝 英雄(65)	平成26年 4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ論 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B	兼任			平成26年 4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ論	平成26年3月 一身上の都合により、教養部教授を退職。(26) 平成26年4月 教養部客員教授に就任。(26) 平成26年4月 基礎体育A、基礎体育Bは、スポーツ論は、時間割編成上の都合により、勝助教(兼任)に担当者を変更。(26)
					兼任	助教	勝 健真 (33)(34)	平成26年 4月	基礎体育A 基礎体育B スポーツ論 生涯スポーツA 生涯スポーツB	平成26年4月 教育の充実を図るため、教養部に勝助教を採用。基礎体育A、基礎体育B、スポーツ論は、勝教授の専任教員辞任に伴い、担当者を変更。 生涯スポーツは、時間割編成上の都合により、勝教授(兼任)担当のうち1クラスを、勝助教(兼任)に変更。(26)
兼任	教授	堀内 泰紀(64)	平成26年 4月	ドイツ語 I ドイツ語 II 文章表現入門 芸術学 日本語 I【留学生科目】 日本語 II【留学生科目】	兼任 兼任			平成26年 4月 平成27年 4月		平成27年3月 一身上の都合により、堀内教授が退職。(27) 平成27年4月 客員教授として委嘱。(27)
					兼任	准教授	赤城 永里子(34)	平成27年 4月	日本語 I【留学生科目】 日本語 II【留学生科目】	平成27年4月 教育の充実を図るため、教養部に赤城准教授を採用。堀内教授の退職により、日本語 I、日本語 II の担当者を赤城准教授に変更。(27)
兼任	教授	山根 共行(65)	平成26年 4月	文章表現入門 哲学 論理学 倫理学						
兼任	教授	吉田 廣(59)	平成26年 4月	文章表現入門 文章理解 I 文章理解 II						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	華 立(63)	平成26年 4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 東洋史 東西文化交流史 アジアの都市文化 中国語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】 中国語会話 現代社会と観光※ 東アジア学入門※ 東アジア文化総合演習					中国語コミュニケーション演習【共同】	平成27年4月 中国語コミュニ ケーション演習Ⅰ は、中国語コミュニ ケーション演習へ 科目名称を変更。 (27)
兼任	教授	田中 嗣久(60)	平成26年 4月	法学 経済と民法 キャリア演習A キャリア演習B						
兼任	教授	森澤 理之(39)	平成26年 4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB ハードウェア論 情報処理論(基礎理論) 情報処理論(テクノロジー) 演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅢA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅢB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】				情報処理論(基礎理論) 情報処理論(テクノロジー) 数的処理ⅠA 数的処理ⅠB 数的推理(確率と図形)	平成26年4月 教育の質保証の ため、数的推理 (数の性質)のクラス 数を増加。(26) 平成27年4月 情報処理論(基礎 理論)、情報処理論 (テクノロジー)は、 時間割編成上の 理由により、担当 者を森澤教授から 変更。(27) 平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ A、数的処理ⅠB を新規開設。(27) 平成27年4月 数的推理(確率と 図形)は、康教授 の退職により担当 者を森澤教授に 変更(27)。	
兼任	教授	康 祥隆(68)	平成26年 4月	統計学Ⅰ	兼任	助教	乾 順子(41)	平成27年 4月	統計学Ⅰ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に乾 助教を採用。康教 授の退職により、 統計学Ⅰ、統計学 Ⅱの担当者を乾 助教に変更。(27)
				統計学Ⅱ					統計学Ⅱ	
				数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形)					数的推理(数の性質) 数的推理(確率と図形)	
兼任	教授	荒岡 作之(68)	平成26年 4月	社会学	兼任	助教	乾 順子(41)	平成27年 4月	社会学	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に乾 助教を採用。荒岡 教授の退職によ り、社会学、現代 社会学の担当 者を乾助教に変更。 (27)
				現代社会学					現代社会学	
				文章表現入門					文章表現入門	
兼任	教授	荒岡 作之(68)	平成26年 4月	文章表現入門	兼任	助教	林 英一(30)	平成27年 4月	文章表現入門	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に林 助教を採用。荒岡 教授の退職によ り、文章表現入門 の担当者を林助 教に変更。(27)
				現代日本事情【留学生科目】					現代日本事情【留学生科目】	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	伍 曜(55)	平成26年 4月	政治学【隔年】					日本語Ⅰ【留学生科目】 日本語Ⅱ【留学生科目】 日本語表現【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】 日本語読解【留学生科目】	平成26年4月 日本語Ⅰ、日本語Ⅱは、新保講師(兼任)の委嘱辞退により、担当者を変更。(26) 平成26年4月 教育の質保証のため、日本語表現、日本語会話のクラス数を増加。(26) 平成27年4月 教育の質保証のため、日本語読解を新規開設。(27)
				東アジア近現代史	兼任	助教	林 英一(30)	平成27年 4月	東アジア近現代史	平成27年4月 教育の充実を図るため、教養部に林助教を採用。時間割編成上の理由により、担当者を林助教に変更。(27)
				地域文化論	兼任	助教	梶村 美紀(51)	平成27年 4月	地域文化論	平成27年4月 教育の充実を図るため、教養部に梶村助教を採用。時間割編成上の理由により、担当者を梶村助教に変更。(27)
兼任	教授	前田 晴人(64)	平成26年 4月	日本史	兼任 兼任			平成26年 4月 平成27年 4月		平成27年3月 任期満了により、前田教授が退職。(27) 平成27年4月 客員教授として委嘱(27)
				河内学※ 日本近現代史	兼任	助教	林 英一(30)	平成27年 4月	日本近現代史	平成27年4月 教育の充実を図るため、教養部に林助教を採用。時間割編成上の理由により、担当者を林助教に変更。(27)
兼任	教授	文本 陽雲(62)	平成26年 4月	情報システム論 化学と生活 ワープロ実践 データベース実践 デジタルプレゼンテーション						
兼任	教授	山木 和(61)	平成26年 4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB 判断推理(論理) 判断推理(図形) 情報科学演習					数的処理ⅡA 数的処理ⅡB	平成27年4月 教育の質保証のため、社会科学のための数学、経済学のための数学を各々数的処理ⅡA、数的処理ⅡBに科目名称変更し、クラス数を増加させ、担当者を増加。(27)
兼任	教授	加納 義彦(61)	平成26年 4月	環境と社会 環境と生態 環境保全論※ 河内学※ 環境演習A 環境演習B 環境フィールドスタディⅠ 環境フィールドスタディⅡ					環境論※	平成26年4月 環境論の授業内容の充実のため、オムニバス形式の授業に変更し、担当者を追加。(26)
兼任	准教授	高垣 英雄(62)	平成26年 4月	基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB スポーツ管理論 身体管理論						

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	准教授	中澄 孝司(62)	平成26年 4月	基礎体育A 基礎体育B 生涯スポーツA 生涯スポーツB フィットネス実習A フィットネス実習B 身体運動科学 スポーツ指導論						
				英語CI【共同】	兼任	助教	ミルズ・ジョナサン・チャー ルス(42)	平成27年 4月	英語CⅠ【共同】	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部にミ ルズ助教を採用。 吉川准教授が4月 から7月まで介護 休業に入るため、 担当者をミルズ助 教に変更。(27)
				英語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】					英語コミュニケーション演習【共同】	平成27年4月 英語コミュニケー ション演習Ⅰは、 英語コミュニケー ション演習へ科目 名称を変更。(27)
兼任	准教授	吉川 真理子(51)	平成26年 4月	英語CⅡ【共同】 Practical Business EnglishⅠ					GCP特別演習ⅠA(経) GCP特別演習ⅠB(経)	平成26年4月 GCP特別演習ⅠA (経)、GCP特別演 習ⅠB(経)は、教 育の質保証のため、 担当教員数を 1名から2名に増加 させたうえで、時 間割編成上の都合 により、松下准 教授から担当者を 変更。(26)
				英語総合演習A					英語表現 英語会話	平成27年4月 英語表現、英語会 話は、時間割編成 上の理由により担 当者を変更。(27)
				英語総合演習B	兼任	准教授	ウエザビ・マーティ ン (64)(52)	平成26年 4月	英語総合演習A 英語総合演習B	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に ウエザビ・マーティ ン准教授を採用。 英語総合演習A、 英語総合演習B は、英語担当非専 任講師の一身上 の都合による委嘱 辞退により、英語 担当教員間で、時 間割編成の調整 を行ったため、ウ ェザビ・マーティン 准教授が兼任として 担当することに変 更。(26)
										平成27年4月 英語総合演習A、 英語総合演習B は、時間割編成上 の理由により、担 当者を、カー講師 に変更。(27)
兼任	准教授	姜 若冰(44)	平成26年 4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 日本語Ⅰ【留学生科目】 日本語Ⅱ【留学生科目】 文学 東アジア学入門※ 東アジア女性史 中国語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】 中国語総合演習A 中国語総合演習B					中国語コミュニケーション演習【共同】 日本語読解【留学生科目】	平成27年4月 教育の質保証の ため、「日本語読 解」を新規開設。 (27) 平成27年4月 中国語コミュニ ケーション演習Ⅰ は、中国語コミュニ ケーション演習へ 科目名称を変更。 (27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	准教授	岩見(長坂) 真希(36)	平成26年 4月	大学演習A	兼任	准教授		平成26年 4月 平成27年 4月	大学演習A	平成26年4月 大学演習A、大学演習Bは、時間割編成上の都合により、宋教授(兼任)に担当者を変更。(26) 平成27年4月 教授昇格(27) 平成27年4月 情報処理論(基礎理論)は、時間割編成上の理由により、担当者を森澤教授から変更。(27) 平成27年4月 情報セキュリティは、担当者の退職により、担当者を変更。(27)
				大学演習B					大学演習B	
				表計算実践					情報処理論(基礎理論)	
兼任	准教授	岩見(長坂) 真希(36)	平成26年 4月	表計算応用	兼任	講師	円谷 友英(39)	平成27年 4月	情報処理論(テクノロジー)	平成27年4月 情報セキュリティは、担当者の退職により、担当者を変更。(27)
				プログラミング実践					情報セキュリティ	
				Webデザイン					プログラミング実践	
兼任	准教授	呉 紅敏(41)	平成26年 4月	ネットワーク論	兼任	講師	野津 亮(37)	平成27年 4月	表計算実践	平成27年4月 岩見教授が9月まで育児休業のため、プログラミング実践及び前期に開講される表計算実践の担当者を円谷講師に変更。(27) 平成27年4月 岩見教授が9月まで育児休業のため、担当者を野津講師に変更。(27)
									Webデザイン	
									ネットワーク論	
兼任	准教授	宮崎 裕(44)	平成26年 4月	日本事情入門【留学生科目】						平成27年3月 一身上の都合により、荒岡教授が退職。(27) 平成27年4月 現代日本事情は、荒岡教授の退職により担当者を変更(27)。
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	キャリア演習A						現代日本事情【留学生科目】
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	キャリア演習B						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	情報リテラシーA						平成26年4月 教育の質保証のため、数的推理(数の性質)のクラス数を増加。(26)
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	情報リテラシーB						平成27年4月 教育の質保証のため、ICT特別演習ⅢA、ICT特別演習ⅢB、ICT特別演習ⅣA、ICT特別演習ⅣBを新規開設。(27)
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	ソフトウェア論						平成27年4月 教育の質保証のため、社会科学のための数学、経済学のための数学を各々数的処理ⅡA、数的処理ⅡBに科目名称変更し、クラス数を増加させ、担当者を増加。(27)
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	経済数学Ⅰ						数的推理(数の性質)
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	経済数学Ⅱ						ICT特別演習ⅢA
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						ICT特別演習ⅢB
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						ICT特別演習ⅣA
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						ICT特別演習ⅣB
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						数的処理ⅡA
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅢA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						数的処理ⅡB
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	演習ⅢB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	ICT特別演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	ICT特別演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	ICT特別演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	ICT特別演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	心理学						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	社会心理学						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	総合演習a						
兼任	准教授	笹井 恵子(42)	平成26年 4月	総合演習b						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	クリストファー・カー(56)	平成26年 4月	視聴覚英語 英語CⅢ【共同】 英語CⅣ【共同】 英語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】 英語会話	兼任 兼任			平成26年 4月 平成27年 4月	英語総合演習A 英語総合演習B	平成26年4月 英語会話は、英語 担当非専任講師 の一人上の都合 による委嘱辞退に より、英語担当教 員間で、時間割編 成の調整を行った ため、グレン・マ イケル・ブラウン講 師(兼任)に担当 者を変更。(26) 平成27年3月 一人上の都合によ り、カー講師が退 職。(27) 平成27年4月 カー氏が講師(兼 任)に就任。(27) 平成27年4月 英語総合演習A、 英語総合演習B は、時間割編成上 の理由により、担 当者を、マーティ ン准教授から変 更。(27) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習Ⅰは、 英語コミュニケー ション演習へ科目 名称を変更。(27) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習は、時 間割編成上の理 由により、担当者 を変更。(27)
兼任	講師	朴 恵一(40)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B 情報リテラシーA 情報リテラシーB 情報セキュリティ 演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅢA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 演習ⅢB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅠA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅠB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅡA【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】 ICT特別演習ⅡB【3名の教員が1年毎に持ち回り担当】	専 助教 兼任 兼任	北田 真紀(29)	平成27年 4月	平成26年 4月 平成27年 4月	大学演習A 大学演習B 情報セキュリティ	平成27年3月 一人上の都合によ り、朴講師が退 職。(27) 平成27年4月 教育の充実を図る ため、経済学部経 営学科に北田助 教を採用し、北田 助教が担当。(27) 平成27年3月 一人上の都合によ り、朴講師が退 職。(27) 平成27年4月 兼任講師として新 規委嘱。一部担当 科目の担当者変 更。(27)

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	三井 愛子(42)	平成26年 4月	英語表現 英語CⅠ【共同】 英語CⅡ【共同】 英語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】		講師 准教授		平成26年 4月 平成27年 4月	英語コミュニケーション演習【共同】 GCP特別演習ⅠA(経) GCP特別演習ⅠB(経)	平成26年4月 GCP特別演習ⅠA (経)、GCP特別演 習ⅠB(経)は、教 育の質保証のた め、担当教員数を 1名から2名に増加 させたうえで、時 間割編成上の都 合により、松下准 教授から担当者を 変更。(26) 平成27年4月 准教授昇格。(27) 平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部にミ ルズ助教を採用。 時間割編成上の 理由から、GCP特 別演習ⅠA(経)、 GCP特別演習Ⅰ B(経)担当者をミ ルズ助教に変更。 (27) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習Ⅰは、 英語コミュニケーション演習へ科目 名称を変更。(27) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習は、時 間割編成上の理 由により、担当者 を変更。(27)
兼任	講師	フィリップ・フラビン(53)	平成26年 4月	視聴覚英語 英語CⅢ【共同】 英語CⅣ【共同】 Practical Business English II Practical Business English III		講師 准教授 兼任 准教授		平成26年 4月 平成27年 4月 ウエザビ・マーティ ン (51)(52)	Practical Business English II Practical Business English III	平成27年4月 准教授昇格。(27) 平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に ウエザビ・マーティ ン准教授を採用。 Practical Business English II、 Practical Business English IIIは、英 語担当非専任講 師の一人上の都 合による委嘱辞退 により、英語担当 教員間で、時間割 編成の調整を行っ たため、ウエザビ・ マーティン准教授 が兼任として担当 することに変更。 (26)
兼任	教授	澤野 義一(62)	平成26年 4月	平和学※						
兼任	教授	魏 栢良(69)	平成26年 4月	平和学※	兼任	教授	矢野 哲也(55)	平成27年 4月	平和学※	平成27年3月 魏教授が退職。 (27) 平成27年4月 教育の充実を図る ため、法学部法律 学科に矢野教授 を採用し矢野教授 が担当。(27)
兼任	教授	金 泰明(62)	平成26年 4月	人権の諸問題【隔年】 多文化共生論【隔年】 現代社会と人権						
兼任	教授	西脇 邦雄(59)	平成26年 4月	総合演習a 総合演習b 現代社会とビジネス※		兼任 兼任		平成26年 4月 平成27年 4月	総合演習a 総合演習b	平成27年4月 教育の充実を図る ため、法学部法律 学科に西脇教授 を採用。総合演習 a、総合演習bは、 時間割編成上の 理由から、担当者 を変更。(27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	教授	森 榮 徹(62)	平成26年 4月	総合演習a 総合演習b 現代社会と観光※ 現代社会とメディア※	兼任 兼任			平成26年 4月 平成27年 4月	総合演習a 総合演習b 文章表現入門	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に森 榮教授を採用。総 合演習a、総合演習 b、文章表現入門 は、時間割編成上 の理由から、担当 者を変更。(27)
兼任	教授	金 英一(67)	平成26年 4月	現代社会と健康	兼任	講師	朴 永昊 (48)(49)	平成26年 4月	現代社会と健康	平成26年3月 金教授(兼任)が、 一身上の都合によ り、平成26年度以 降の委嘱辞退。 (26) 平成26年4月 現代社会と健康 は、金教授(兼任) の委嘱辞退によ り、担当者を変 更。(26)
				心とからだの病理学	兼任	講師	李 良子 (59)(60)	平成26年 4月	心とからだの病理学	平成26年3月 金教授(兼任)が、 一身上の都合によ り、平成26年度以 降の委嘱辞退。 (26) 平成26年4月 心とからだの病理 学は、金教授(兼 任)の委嘱辞退に より、担当者を変 更。(26)
兼任	教授	坪井 一字(74)	平成26年 4月	総合演習a 総合演習b					総合演習a 総合演習b	平成27年4月 坪井一字氏の客 員教授の委嘱終 了(27)。
兼任	教授	梶川 伸(66)	平成26年 4月	文章表現入門 マスコミ論 総合演習a 総合演習b	兼任	教授	田原 護立 (66)(67)	平成26年 4月	総合演習a 総合演習b	平成26年4月 教育の充実を図 るため、教養部客 員教授として田原 護立氏に委嘱。総 合演習a、総合演 習bは、時間割編 成上の都合により 、田原護立客員教 授が兼任として担 当することに変更。
兼任	教授	内藤 林(69)	平成26年 4月	日本の水産業と世界の水産業 海運と港湾 資源・エネルギーと環境	兼任	教授	池田 良穂(65)	平成27年 4月	日本の水産業と世界の水産業 海運と港湾 資源・エネルギーと環境	平成27年3月 内藤林氏の客員 教授の委嘱終了 (27)。 平成27年4月 教育の充実を図 るため、教養部客 員教授として池田 良穂氏に委嘱。日 本の水産業と世 界の水産業、海 運と港湾、資源 ・エネルギーと 環境の担当者 を池田客員教 授に変更(27)
兼任	教授	上野 裕(61)	平成26年 4月	地理学 現代社会と観光※						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
				Global Business Communication	兼任	准教授	ウェザビ・マーティン (51)(52)	平成26年 4月	Global Business Communication	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に ウェザビ・マーティン 准教授を採用。 Global Business Communication は、英語担当非専 任講師の一身上 の都合による委嘱 辞退により、英語 担当教員間で、時 間割編成の調整 を行ったため、ウェ ザビ・マーティン准 教授が兼任として 担当することに変 更。(26) 平成27年4月 Global Business Communication は、時間割編成上 の理由により、担 当者を宋教授に 変更。(27)
兼任	教授	ルベ・エマニュエル(56)	平成26年 4月	総合演習a 総合演習b 現代社会とメディア※					Webデザイン 現代社会と観光※ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	平成26年4月 教育の質保証の ため、Webデザイ ンのクラス数を増 加。(26) 平成26年4月 オムニバス形式で 実施する、現代社 会と観光の授業内 容の充実のため、 担当教員を追加。 (26) 平成27年4月 現代社会とメディ アは、時間割編成 上の理由により、 担当者を変更。 (27) 平成27年4月 教育の質保証の ため、ドイツ語Ⅰ、 ドイツ語Ⅱの授業 方式を変更したた め、担当教員とし て追加(27)。
兼任	講師	桑原 武志(61)	平成26年 4月	文化人類学 考古学 河内学※						
兼任	講師	佐々木 雅一(67)	平成26年 4月	環境論 環境と経営					環境論※	平成26年4月 環境論の授業内 容の充実のため、 オムニバス形式の 授業に変更し、担 当者を追加。(26)
兼任	講師	安倉 良二(42)	平成26年 4月	河内学※ 経済地理Ⅰ 経済地理Ⅱ						
兼任	講師	C・ルーデンクロー(56)	平成26年 4月	視聴覚英語					英語コミュニケーション演習Ⅰ 英語コミュニケーション演習Ⅱ	平成26年4月 英語コミュニケー ション演習Ⅰは、 英語担当非専任 講師の一身上の 都合による委嘱辞 退により、英語担 当教員間で、時間 割編成の調整を 行ったため、グレ ン・マイケル・ブラ ウン講師(兼任)か ら担当者を変更。 (26) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習Ⅰは、 英語コミュニケーション演習へ科目 名称を変更。(27) 平成27年4月 英語コミュニケー ション演習は、時 間割編成上の理 由により、担当者 を変更。(27)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	山下 丈夫(50)	平成26年 4月	ロシア語Ⅰ ロシア語Ⅱ ロシア語総合演習A ロシア語総合演習B						
兼任	講師	田嶋 香織(41)	平成26年 4月	日本語Ⅰ【留学生科目】 日本語Ⅱ【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】 日本語表現【留学生科目】 日本語総合演習A【留学生科目】 日本語総合演習B【留学生科目】						
兼任	講師	赤尾 美和(46)	平成26年 4月	英語表現	兼任	講師	福田 泰子 (34)(35)	平成26年 4月	英語表現 英語CⅠ【共同】 英語CⅡ【共同】	平成26年3月 赤尾講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成26年 度以降の委嘱辞 退。(26) 平成26年4月 赤尾講師(兼任) の委嘱辞退によ り、担当者を変 更。(26) 平成27年4月 英語CⅠ、英語C Ⅱは、時間割編成 上の理由により、 担当者を変更。 (27)
兼任	講師	松岡 靖(45)	平成26年 4月	現代社会と教育	兼任	講師	岸 優子 (59)(60)	平成26年 4月	現代社会と教育	平成26年3月 松岡講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成26年 度以降の委嘱辞 退。(26) 平成26年4月 現代社会と教育 は、松岡講師(兼 任)の委嘱辞退に より、担当者を変 更。(26)
兼任	講師	浅香 加奈子(33)	平成26年 4月	英語表現	兼任	講師	デイヴィス 恵美 (39)	平成27年 4月	英語表現	平成27年3月 浅香講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成27年 度以降の委嘱辞 退。(27) 平成27年4月 英語表現は、浅香 講師(兼任)の委 嘱辞退により、担 当者を変更。(27)
兼任	講師	養父 志乃夫(56)	平成26年 4月	環境保全論※						
兼任	講師	太田 結花(53)	平成26年 4月	キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B キャリア演習A キャリア演習B					キャリア開発A キャリア開発B	平成27年4月 教育の質保証の ため、キャリア開発 A、キャリア開発B のクラス数を増 加。(27)
兼任	講師	山本 桂子(43)	平成26年 4月	キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B キャリア演習A キャリア演習B						
兼任	講師	廣本 亜矢子(48)	平成26年 4月	キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B キャリア演習A キャリア演習B						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	新保 朝子(41)	平成26年 4月	韓国語Ⅰ	兼任	講師	仲島 淳子 (43)(44)	平成26年 4月	韓国語Ⅰ	平成26年3月 新保講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成26年 度以降の委嘱辞 退。(26)
				韓国語Ⅱ					韓国語Ⅱ	平成26年4月 韓国語Ⅰ、韓国語 Ⅱ、韓国語会話 は、新保講師(兼 任)の委嘱辞退に より、担当者を変 更。(26)
				韓国語会話					韓国語会話	
				日本語Ⅰ【留学生科目】	兼任	講師	新保 朝子 (41)	平成26年 4月	日本語Ⅰ【留学生科目】	平成26年3月 新保講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成26年 度以降の委嘱辞 退。(26)
				日本語Ⅱ【留学生科目】					日本語Ⅱ【留学生科目】	平成26年4月 日本語Ⅰ、日本語 Ⅱは、新保講師 (兼任)の委嘱辞 退により、伍教授 (兼任)に担当者 を変更。(26)
				言語学					言語学	平成26年4月 言語学は、新保講 師(兼任)の委嘱 辞退により、柳田 講師(兼任)に担 当者を変更。(26)
兼任	講師	山田 智貴(48)	平成26年 4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB 地球と環境 環境と海洋						
兼任	講師	中尾 恭三(35)	平成26年 4月	西洋史						
兼任	講師	笠田 真由美(48)	平成26年 4月	キャリア演習A キャリア演習B					キャリア開発A キャリア開発B	平成27年4月 教育の質保証の ため、キャリア開発 A、キャリア開発B のクラス数を増 加。(27)
兼任	講師	庄司 俊恵(59)	平成26年 4月	英語表現						
兼任	講師	大島 淑恵(51)	平成26年 4月	情報リテラシーA 情報リテラシーB キャリアデザイン演習A キャリアデザイン演習B キャリア演習A キャリア演習B					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ A、数的処理ⅠB を新規開設。(27)
兼任	講師	竹井 夏生(39)	平成26年 4月	心理学						
兼任	講師	柳田 亮吾(31)	平成26年 4月	英語CⅠ 英語CⅡ 英語表現					英語表現 言語学	平成26年4月 言語学は、新保講 師(兼任)の委嘱 辞退により、新保 講師(兼任)から担 当者を変更。(26) 平成27年4月 英語表現は、時間 割編成上の理由 により、担当者を 梶村助教(兼任) に変更。(27)
兼任	講師	黒田 進(62)	平成26年 4月	生涯スポーツA 生涯スポーツB						
兼任	講師	鳥居 智男(40)	平成26年 4月	トレーニング演習A トレーニング演習B	兼任	准教授	西口 善規(62)	平成27年 4月	トレーニング演習A トレーニング演習B	平成27年3月 鳥居講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成27年 度以降の委嘱辞 退。(27) 平成27年4月 トレーニング演習 A、トレーニング演 習Bは、鳥居講師 (兼任)の委嘱辞 退により、担当者 を変更。(27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
兼任	講師	グレン マイケル ブラウン(48)	平成26年 4月	視聴覚英語					英語会話	平成26年4月 英語会話は、英語 担当非専任講師 の一身上の都合 による委嘱辞退に より、英語担当教 員間で、時間割編 成の調整を行った ため、C・カー専任 講師(兼任)担当 分のコマ数をブラ ウン講師(兼任)が 担当。(26)
				英語会話					英語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】	平成26年4月 英語コミュニケーション演習Ⅰは、 英語担当非専任 講師の一身上の 都合による委嘱辞 退により、英語担 当教員間で、時間 割編成の調整を 行っため、C・ ルーデンクロー講 師(兼任)に担当 者を変更。(26)
				英語コミュニケーション演習Ⅰ【共同】					英語CⅢ【共同】	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に ウェザビ・マーティ ン准教授を採用。 英語CⅢは、英語 担当非専任講師 の一身上の都合 による委嘱辞退に より、英語担当教 員間で、時間割編 成の調整を行った ため、ウェザビ・ マーティン准教授 が兼任として担当 することに変更。 (26)
				英語CⅢ【共同】	兼任	准教授	ウェザビ・マーティン (54)(52)	平成26年 4月	英語CⅢ【共同】	英語CⅣ【共同】
兼任	講師	大野 勝好(64)	平成26年 4月	キャリア開発A キャリア開発B						
兼任	講師	沖 義範(28)	平成26年 4月	法学基礎					法学基礎	平成26年4月 経営と法の授業内 容の充実のため、 オムニバス形式の 授業に変更し、担 当者を追加。(26)
									経営と法※	平成27年3月 沖講師(兼任)が、 一身上の都合によ り、平成27年度以 降の委嘱辞退。 (27) 平成27年4月 法学基礎、経営と 法は、沖講師(兼 任)の委嘱辞退に より、担当者を高 砂准教授変更。 (27)
兼任	講師	本多 康作 (40)	平成26年 4月	日本国憲法	兼任	講師	森 征樹 (43)(44)	平成26年 4月	日本国憲法	平成26年3月 本多講師(兼任) が、一身上の都合 により、平成26年 度以降の委嘱辞退。 (26)
				経済と憲法					経済と憲法	平成26年4月 日本国憲法、経済 と憲法は、本多講 師(兼任)の委嘱辞 退により、担当 者を変更。(26)
兼任	講師	妻 龍(48)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B 海外インターンシップ						
				海外フィールドスタディ	兼任	助教	梶村 美紀(51)	平成27年 4月	海外フィールドスタディ	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に梶 村助教を採用。時 間割編成上の理 由により、担当 者を変更。(27)
兼任	講師	森下 泰行(66)	平成26年 4月	健康科学論 トレーニング演習A トレーニング演習B						

専任・ 兼任・ 兼任の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任の別	職 名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
					兼任	准教授	中川 康弘 (41)(42)	平成26年 4月	文章表現入門 日本語Ⅰ【留学生科目】 日本語Ⅱ【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】 日本語表現【留学生科目】 日本語総合演習B【留学生科目】 日本語読解【留学生科目】	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に中 川准教授を採用。 教育の質保証の ため、文章表現入 門、日本語Ⅰ、日 本語Ⅱ、日本語会 話、日本語表現の クラス数を追加し、 中川准教授が兼 担として担当する ことに変更。(26) 平成27年4月 教育の質保証の ため、日本語総合 演習Bのクラス数 を増加し、中川准 教授が担当。(27) 平成27年4月 教育の質保証の ため、日本語読解 を新規開設。(27)
					兼任	准教授	ウエザビ・マーティ ン (51)(52)	平成26年 4月	視聴覚英語 西洋史	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に ウエザビ・マーティ ン准教授を採用。 教育の質保証の ため、視聴覚英 語、西洋史のクラ ス数を追加し、ウエ ザビ・マーティン准 教授が兼担として 担当することに変 更。(26) 平成27年4月 西洋史は、時間割 編成上の理由によ り、担当者を変 更。(27)
					兼任	助教	勝 健真 (33)(34)	平成26年 4月	大学演習A 大学演習B	平成26年4月 教育の充実を図る ため、教養部に勝 助教を採用。教育 の質保証のため、 大学演習A、大学 演習Bは、のクラス 数を追加し、勝助 教が兼担として、 担当者すること に変更。(26)
					兼任	講師	尹 銀哲 (37)(38)	平成26年 4月	日本語総合演習B【留学生科目】 日本語会話【留学生科目】 日本語Ⅱ	平成26年4月 教育の質保証の ため、日本語総合 演習B、日本語会 話のクラス数を増 加。(26) 平成27年4月 日本語総合演習 B、日本語会 話、時間割編成上 の理由により、担 当者を変更。(27) 平成27年4月 教育の質保証の ため、日本語Ⅱの クラス数を追加し、 尹講師が担当。 (27)
					兼任	准教授	大澤 和人(57)	平成26年 4月	数的処理ⅠA	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ Aを新規開設。 (27)
					兼任	准教授	漆畑 貴久(43)	平成27年 4月	数的処理ⅠB	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ Bを新規開設。 (27)
					兼任	准教授	赤城 永里子(34)	平成27年 4月	日本語総合演習A【留学生科目】 日本語総合演習B【留学生科目】	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に赤 城准教授を採用。 (27)
					兼任	助教	ミルス・ジョナサン・チャ ールズ(42)	平成27年 4月	英語CⅡ【共同】 Practical Business EnglishⅠ GCP特別演習ⅠA(経) GCP特別演習ⅠB(経) 視聴覚英語	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部にミ ルス助教を採用。 (27)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	備 考
	兼任	助教	梶村 美紀(51)	平成27年 4月					英語表現 日本語Ⅱ 多文化共生論	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に梶 村助教を採用。 (27)
	兼任	助教	乾 順子(42)	平成27年 4月					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB 数的処理ⅡA 数的処理ⅡB	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に乾 助教を採用。(27)
	兼任	助教	林 英一(30)	平成27年 4月					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB 河内学※	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部に林 助教を採用。(27)
	兼任	教授	池田 良徳(65)	平成27年 4月					現代社会と観光※	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部客員 教授として、池田 良徳氏に委嘱。 (27)
	兼任	教授	姜 信和(48)	平成27年 4月					地域文化論 総合演習a 総合演習b	平成27年4月 教育の充実を図る ため、教養部客員 教授として、姜信 和氏に委嘱。(27)
	兼任	講師	宝利 剛(32)	平成27年 4月					情報リテラシーA 情報リテラシーB	平成27年4月 教育の質保証の ため、情報リテラ シー担当者を新規 委嘱。(27)
	兼任	講師	戸田 健太郎(39)	平成27年 4月					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ A、数的処理ⅠB を新規開設。(27)
	兼任	講師	辻野 正俊(61)	平成27年 4月					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ A、数的処理ⅠB を新規開設。(27)
	兼任	講師	中野 徹(65)	平成27年 4月					数的処理ⅠA 数的処理ⅠB 数的処理ⅡA 数的処理ⅡB	平成27年4月 教育の質保証の ため、数的処理Ⅰ A、数的処理ⅠB を新規開設。(27) 平成27年4月 教育の質保証の ため、社会科学の ための数学、経済 学のための数学を 各々数的処理Ⅱ A、数的処理ⅡB に科目名称変更 し、クラス数を増加 させ、担当者を増 加。(27)

(注)・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、

〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入する

とともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・

学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

・「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成（前年度の状況）	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
7	4	1	0	12	9 7	5 4	1	2 0	17 12	教授67歳 准教授・講師・助教 65歳		教授67歳 准教授・講師・助教 65歳	
(7)	(4)	(1)	(0)	(12)	[2] [0]	[1] [0]	[0]	[2] [0]	[5] [0]		5名		3名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
- ・「年齢構成（前年度の状況）」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			該当なし
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成25年7月)	該当なし		
設置計画履行状況 調査時 (平成26年3月)	経済学部経営学科の入学定員超過の改善に努めること	改善意見 平成27年度入試においては、平成26年度入学定員超過の状況を踏まえ、入学手続率の予測を平成26年度入試の実績値と現状分析をもとに、精緻に行うとともに、各々の試験毎に手続者数を確認しながら慎重に合格者数を算定し合否判定を行った。その結果、入学定員160人に対して入学者191人、入学定員超過率1.19倍となり、入学定員超過を改善することができた。 今後も継続して定員の適正な確保に努めていきたいと考える。 平成26年度入試 入学定員160人 入学者215人 超過率1.34倍 平成27年度入試 入学定員160人 入学者191人 超過率1.19倍	
	経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること	改善意見 経営学科の教育研究水準の維持向上を図るために、平成27年4月1日付で、経営学科に5名の教員を採用した。その内3名は、20代から30代の教員である。 設置届出書に基づき、完成年度時点で、定年規程に定める退職年齢を超えて雇用する専任教員7名は、平成29年度の完成年度をもって順次退職することとなる。そのため、今後とも、年齢構成のバランスに留意し、科目の必要性や重要性等を勘案し、採用する適切な時期を定め、適格な教育研究能力を有する教員の採用を行い、後任を補充する。	

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経済学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	変更なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

経済学部経営学科においては、全学的な組織である大学教育開発支援センターのもと、教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、FD研修などの活動を実施するとともに、経済学部教授会のもとに経済学部カリキュラムFD委員会を置き、カリキュラムの改善充実、授業改善など教員の資質の維持向上に向けた取組を行っている。

〔設置委員会〕

大学教育開発支援センター運営会議、大学教育開発支援センター会議
経済学部教授会カリキュラムFD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〔大学教育開発支援センター〕

大学教育開発支援センターは、平成26年度、センター会議を9回実施した。平成27年度は、4月29日に第1回センター会議を実施し、以後、平成26年度と同程度の開催を予定している。

○大学教育開発支援センター運営会議構成員（平成27年度）

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長兼教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長
教務部長、経済学部長、法学部長、教養部長、情報科学センター長代理
教務部長補佐兼学習支援センター長、教務部長補佐兼法学部FDカリキュラム検討委員会委員長
経済学部カリキュラムFD委員会委員長（以上教員）
大学教育開発支援センター事務長兼教務課長

○大学教育開発支援センター会議構成員（平成27年度）

大学教育開発支援センター所長兼教務部副部長兼教養部FD・カリキュラム検討委員会委員長
教務部長、教務部長補佐兼学習支援センター長、教務部長補佐兼法学部FDカリキュラム検討委員会委員長
経済学部カリキュラムFD委員会委員長（以上教員）
大学教育開発支援センター事務長兼教務課長

〔経済学部カリキュラムFD委員会〕

経済学部カリキュラムFD委員会は、平成26年度、委員会を14回実施した。平成27年度は、4月22日に第1回委員会を開催し、平成26年度と同程度の開催を予定している。

○経済学部カリキュラムFD委員会構成員

経済学部長、経済学部長補佐、経済学部カリキュラムFD委員会委員長ほか、専任教員17名で構成

c 委員会の審議事項等

〔大学教育開発支援センター〕

- 1) 教育の可視化（教員相互の授業参観、学生による授業評価アンケート、授業改善報告書等）
- 2) 教育活動支援（新任教員研修、FD研修等）

〔経済学部カリキュラムFD委員会〕

- 1) 教育活動の企画・開発に関する事
- 2) 教育内容及び教育方法の検証・改善に関する事
- 3) 学科担当に関する事
- 4) キャリア教育、就職支援に関する事

② 実施状況

a 実施内容

〔大学教育開発支援センター〕〔経済学部カリキュラムFD委員会〕

（1）教育の可視化

1) 教員相互の授業参観（専任教員対象）

○春学期：平成26年5月19日（月）～6月6日（金）

○秋学期：平成26年11月3日（月）～11月7日（金）

2) 学生による授業評価アンケート

（後掲 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況）

3) 授業改善報告書

（後掲 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況）

4) FD実践状況調査

○春学期：平成26年5月26日（月）～7月22日（火）

調査対象授業426科目中423科目（実施率99%）

○秋学期：平成26年11月6日（月）～11月18日（火）

調査対象授業119科目中111科目（実施率93%）

5) 授業改善中間フィードバック（専任教員対象）

○春学期：平成26年5月19日（月）～6月10日（金）

○平成26年11月3日（月）～11月7日（金）

（2）教育活動支援

1) 新任教員研修

○平成27年度専任教員対象新任教員研修（平成27年3月7日（金））

対象教員10名中10名参加

2) FD研修 (専任教員対象)

○第1回FD研修会 (平成26年9月19日 (金) 13:30~15:00)

「発達障害学生との理解と対応について」

講師: 笹井恵子 (教養部准教授)、竹井夏生 (教養部非常勤講師)

参加者34名

○アクティブ・ラーニングスタジオ「HALS」活用研修会

(平成27年3月4日 (水) 11:00~12:00)

参加者17名

b 実施方法

〔大学教育開発支援センター〕〔経済学部カリキュラムFD委員会〕

(1) 教育の可視化

1) 教員相互の授業参観

- ・専任教員が参観を希望する授業を申告し、参観。実施後に報告書を提出。

2) 学生による授業評価アンケート

- ・講義、外国語、教職科目等を対象に実施。

3) 授業改善報告書

- ・教員は学生による授業評価アンケートの結果を踏まえて、授業改善報告書を作成し提出。

4) FD実践状況調査

- ・講義科目を中心に授業の実地調査を実施。
- ・大学教育開発支援センター所員、教務課職員が各教室を巡回し、受講生の着席状況等を調査。

5) 授業改善中間フィードバック

- ・授業期間の途中でコメントシートを用いて学生の意見を収集し、授業改善に活用。

(2) 教育活動支援

1) 新任教員研修

- ・新任の専任教員、客員教員、非専任教員を対象に、就任前の研修を実施。
- ・本学のFDに関する取組の紹介、授業実践研修等。

2) FD研修

- ・全専任教員を対象とする全体集合研修を実施。
- ・外部講師の招聘や授業実践事例の報告等。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

(前掲)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学教育開発支援センターが、経済学部カリキュラムFD委員会等と連携をとりつつ、教育の可視化や教育活動支援のための取組を年間日程化して実施しており、この結果、学生の授業満足度の向上、シラバスの改善等の成果が見られた。

今後も、教員の資質の維持向上のためのPDCAサイクルの一環として、授業改善のための組織的取組を継続して実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・講義、外国語等を対象に実施。

○春学期: 平成26年7月7日 (月) ~7月11日 (金)

実施科目340科目 (アンケート実施率100%)

○秋学期: 平成26年12月15日 (月) ~12月19日 (金)

実施科目325科目 (アンケート実施率100%)

b 教員や学生への公開状況, 方法等

- ・教員は授業評価アンケート結果を踏まえて、授業改善報告書を作成し提出。
- ・授業評価アンケート結果と授業改善報告書を学内ポータルサイトに掲載。
- ・授業改善報告書の提出状況

○春学期: 平成26年9月2日 (火) ~9月20日 (土)

提出率82% (279科目)

○秋学期: 平成27年2月10日 (火) ~2月27日 (金)

提出率67% (219科目)

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学経済学部経営学科は、経営学を中心とする幅広い専門知識とその実践的応用能力を有し、社会や継続的
事業体の内部において、顧客・同僚など他者の気持ちを推察しながら、的確な行動ができるとともに、グロー
バル化する現代ビジネスの諸課題に創造的に対応できる人材の育成をめざし、平成26年4月に設置され、本年2
年目を迎えている。

経済学部は、当初の設置計画どおり、順調に教育研究活動を実施している。

開設にあたっては、経済学部経営学科の学位授与の方針（DP）、教育課程の編成・実施の方針（CP）を定め、
4つのコースごとにカリキュラムマップ（コアカリキュラム）を在學生に詳細に示している。

平成27年度は、平成26年度に引き続き、開講科目の未開講科目や廃止科目はなく、すべての科目を開講して
いる。また教育の充実をはかる観点から、経済学部経営学科に専任教員をさらに5名補充し、専任教員数は設
置届出時の計画よりも上回っている。時間割編成上の理由や教員の産休・介護休業等を理由とした担当者の変
更が一部生じているが、すべての科目を開講できるよう対応を行った。

開設2年目を迎え、コース制に基づく専門教育を本格的に実施する段階を迎えている。2年次から専門教育を
本格的に実施する前提として、1年次で「経営学基礎」「経済学基礎」を必修としたが、ほとんどの学生が単
位を取得した（合格率94%）。単位を取得できなかった学生には再履修クラスを設置するなど丁寧な教育指導
を実施するとともに、将来の進路や関心に応じて、幅広い教養を身に付ける共通教育科目、学科共通科目、
コース基本・関連科目と、体系的・順次性を重視した履修を促している。またPBLや体験型・実践型教育を重
視し、それらを1年次から授業に積極的に取り入れている。これらの結果、総じて平成26年度入学生は順調に
修学していると評価している。

2期生となる平成27年度入学生については、授業開始に先立ち、経営学科の全新生を対象に、新入生キャン
プを4月6日～7日の日程で開催した。その場を活用して、初年次演習（「大学演習」）担当教員（チュー
ター）、クラス担当職員（サブチューター）、クラス担当上級生（メンター）とともに、クラスミーティング
を行い、春学期の学修計画を立てるため、履修指導を行った。この履修指導を踏まえて、①経営学科の学修の
柱となる経営学、経済学及び法学の基礎知識を修得するために、「経営学基礎」「経済学基礎」及び「法学
基礎」からなる学科基礎科目、②高等学校から大学への円滑な移行を図るために、共通教育科目と専門教育科
目からいくつかの科目をパッケージ化した、「大学演習A」、「大学演習B」、「文章表現入門」、「情報リテ
ラシーA」、「情報リテラシーB」等からなる初年次教育科目、③学生の生涯を通じた持続的な就業力の育成を
目指した「キャリア開発A」、「キャリア開発B」等からなるキャリア支援科目を中心に、履修し学修を開始し
た。

このように、当初の計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう取組を進めている。今年度以降も、
目的達成に向けて、さらなる努力を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学は、平成22年6月以降、自己点検評価報告書を公表しているが、平成26年4月開設され
た経済学部経営学科を含む自己点検評価報告書の公表時期については今後検討する。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成22年度に（財）日本高等教育評価機構において受審し、平成23年3月25日付けで、「（財）日本高等教育評価機構
が定める大学評価基準を満たしている」と認定された。認定期間は、平成22年4月1日から平成29年3月31日までの7年間
である。平成26年6月30日理事会決議に基づき、平成28年に、（財）日本高等教育評価機構の評価を受けるために、学内
で準備を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を
含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ
いて記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成27年 6月頃予定)